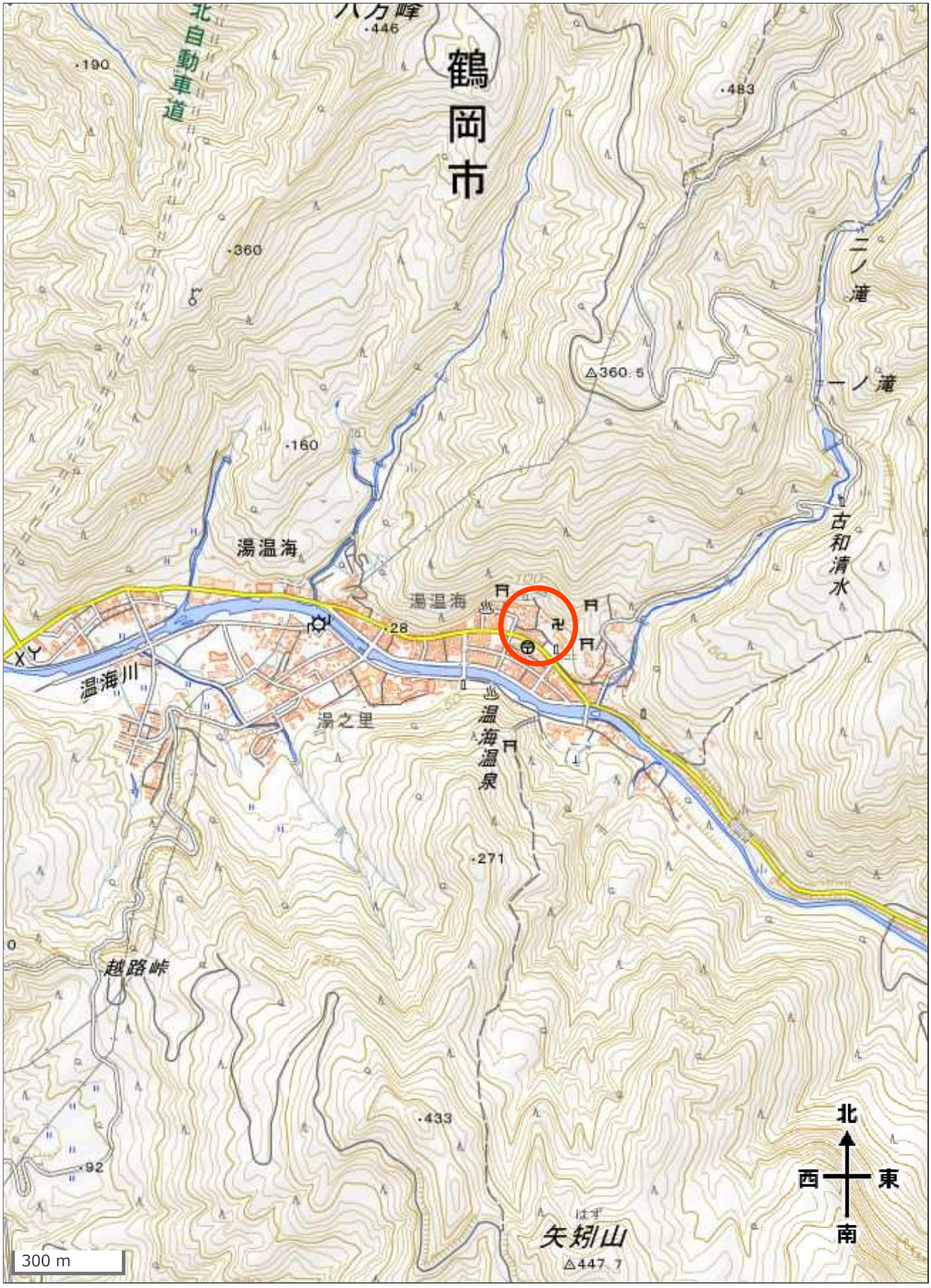
令　和　8　年　度

湯　温　海　排　水　路　工　事　設　計　書

地理院地図
GSI Maps

○：施工箇所



工　事　番　号		施　工　年　度	令和8年度
工　事　名　称	湯温海排水路工事		
工　事　場　所	鶴岡市湯温海　地内		
発　　注　　者	鶴岡市建設部土木課		
設　計　区　分	当初		
路　　線　　名	市道遊園地通線		
工　事　期　間	令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日		
工　事　日　数	日		
工　種　区　分	道路改良工事		
適　用　世　代	令和8年10月1日		
合　　計　　額			
工　事　価　格			
消費税相当額			

工事概要

施工延長　L=28.3m

暗渠排水管（高密度ポリエチレン管φ400ｍｍ）	L=　2m
可変勾配側溝（B400×H600～700）	L=　22m
集水桝工	N=　2箇所
函渠工（B500×H500）	L= 0.9m
縦排水工	V=　5m3
大型ブロック積（控え70ｃｍ）	A=　28m2
小口止工	N=　2箇所
舗装復旧工（アスファルト舗装）	A=　96m2

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
道路改良工事						
土工		式	1			
掘削工		式	1			
掘削	小規模	㎥	40			第　1号単価表
床掘	小規模	㎥	70			第　2号単価表
盛土工		式	1			
路床盛土	購入土	㎥	10			第　3号単価表
埋戻工		式	1			
埋戻し	流用土、小規模	㎥	30			第　4号単価表
フィルター材		㎥	2			第　5号単価表
残土処理		式	1			
土砂等運搬	小規模　Ｌ＝35.0ｋｍ以下	㎥	80			第　6号単価表
残土処分費		㎥	80			第　7号単価表

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
流路工		式	1			
暗渠排水管		式	1			
高密度ポリエチレン管	内面平滑管　φ400mm	m	2			第　8号単価表
水路工		式	1			
可変勾配側溝	B400×H600型	m	7			第　9号単価表
可変勾配側溝	B400×H700型	m	15			第　10号単価表
可変勾配側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	車道用　幅400用　長500	枚	20			第　11号単価表
可変勾配側溝用鋼製溝蓋	車道用　400用　L=50ｃｍ	枚	2			第　12号単価表
調整コンクリート	18-8-40BB	㎥	0.6			第　13号単価表
場所打ち側溝	B600×H500型	m	1			第　14号単価表
集水桝工		式	1			
第5号集水桝	SM-B1000-L700-H700　V=0.54m3	箇所	1			第　15号単価表
第6号集水桝	SM-B1000-L2000-H1000　V=1.32m3	箇所	1			第　16号単価表

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
函渠工		式	1			
函渠工	RBC-B500-H500	m	0.9			第　17号単価表
縦排水工		式	1			
基礎砕石	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　0～80mm ｔ＝15ｃｍ	㎡	1			第　18号単価表
裏込砕石	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　0～80mm	㎥	0.9			第　19号単価表
型枠工	小型構造物	㎡	21			第　20号単価表
コンクリート打設	18-8-40（高炉）	㎥	5			第　21号単価表
跳水防止版	400用	m	4			第　22号単価表
オールアンカー	M12　SUS	本	22			第　23号単価表
擁壁工		式	1			
コンクリートブロック積工		式	1			
大型ブロック積	控700ｍｍ	㎡	28			第　24号単価表
大型ブロック（材料費）	ナウロック　70　（擬石模様）	㎡	24			第　25号単価表

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
胴込コンクリート	18-8-40(高炉)	㎥	5			第　26号単価表
現場打ちコンクリート	18-8-40(高炉)	㎥	3			第　27号単価表
現場打ちコンクリート型枠	小型構造物	㎡	8			第　28号単価表
裏込め材	再生クラッシャーラン0～80mm	㎥	10			第　29号単価表
目地材	瀝青繊維質目地　t＝10mm	㎡	14			第　30号単価表
天端コンクリート	18-8-40(高炉)	m	7			第　31号単価表
土台コンクリート	18-8-40(高炉)	m	7			第　32号単価表
小口止工		式	1			
小口止工		箇所	2			第　33号単価表
すり付け工		式	1			
型枠		㎡	5			第　34号単価表
コンクリート打設		㎥	1			第　35号単価表
目地材	瀝青繊維質目地　t＝10mm	㎡	1			第　36号単価表

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
転落防止柵工		式	1			
転落防止柵		m	12			第　37号単価表
舗装復旧工		式	1			
アスファルト舗装復旧		式	1			
下層路盤工	ＲＣ-40、ｔ＝15ｃｍ	㎡	53			第　38号単価表
上層路盤	M-40、ｔ＝15ｃｍ	㎡	72			第　39号単価表
表層（1.4m≦W＜3.0m）	再生密粒度Ａｓ（13）、ｔ＝5ｃｍ	㎡	65			第　40号単価表
表層（W＜1.4m）	再生密粒度Ａｓ（13）、ｔ＝5ｃｍ	㎡	31			第　41号単価表
構造物撤去工		式	1			
構造物取壊し工		式	1			
コンクリートとりこわし工(機械施工)	無筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策必要	㎥	3			第　42号単価表
コンクリートとりこわし工(機械施工)	鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策必要	㎥	0.2			第　43号単価表
石積取壊し	練積(擁壁)	㎥	13			第　44号単価表

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装切断	アスファルト舗装　ｔ＝5ｃｍ	m	8			第　45号単価表
舗装版破砕	アスファルト舗装版、ｔ＝5ｃｍ	㎡	110			第　46号単価表
殻運搬		式	1			
アスファルト殻運搬	L=28.5ｋｍ以下	㎥	6			第　47号単価表
コンクリート殻運搬	無筋構造物　L=23.2km以下	㎥	3			第　48号単価表
コンクリート殻運搬	鉄筋構造物　L=23.2km以下	㎥	0.2			第　49号単価表
石積み殻運搬	L=35.0km以下	㎥	13			第　50号単価表
殻処分費		式	1			
アスファルト処分費		㎥	6			第　51号単価表
コンクリート処分費	無筋	㎥	3			第　52号単価表
コンクリート処分費	鉄筋	㎥	0.2			第　53号単価表
擁壁殻処分費		㎥	13			第　54号単価表
濁水運搬・処分費		式	1			

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
濁水運搬		㎥	1			第　55号単価表
濁水処理費		㎥	0.1			第　56号単価表
仮設工		式	1			
水替工		式	1			
交通管理工		式	1			
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費		式	1			
現場環境改善費		式	1			
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						
一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする

本　工　事　内　訳　書

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
工事価格						
消費税相当額						
合計額						

鶴岡市建設部土木課

土木工事特記仕様書

湯温海排水路工事

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和８年４月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和８年４月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

（http://www.pref.yamagata.jp）

→ 県政情報

→ 山形県の紹介

→ 組織案内

→ 県土整備部

→ 建設企画課

→ 共通仕様書（土木工事）

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総則

~~1－1．余裕期間制度~~

1－2．監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という）の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

1－3．工事種別

工事種別は、一般土木工事（道路改良工事）とする。

１－４．工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

１－５．技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。
2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

~~１－６．舗装技術者の配置~~

~~１－７．鋼橋塗装技能士の配置~~

~~１－８．標準断面での発注~~

１－９．設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集（令和7年2月改訂）山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものする。

１－１０．揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

１－１１．沿線住民への周知

工事着工前に施工個所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関（幼稚園、保育園、デイサービス等）に通知すること。

１－１２．官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了解を得て側溝を設置し境界杭（境界プレート）等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

1－13．工事支障物件について

1．地下埋設物等

(1) 現況測量時に周囲の状況（電力、NTTなどの架空電線）を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。

(2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。

(3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。

2．施工にともなって支障となる物件（公共汚水桝、量水器など）が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

1－14．工事現場発生品（工事現場再使用品）

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1－15．建設副産物関係

1．本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設（アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可）

2．建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業㈱	8:00～17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀞 158-1	鶴岡建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	㈱三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海ｱｽｺﾝ共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	㈱青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	㈱渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	鶴岡市西目字山田森 28-1 小野寺	小野寺建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀞 158-1	鶴岡建設㈱	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海ｱｽｺﾝ共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	㈱安藤組	8:00～17:00

3. 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1－1－12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
4. 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、砕石等）を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
6. 受注者は、建設副産物（コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等）を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
7. 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
8. 土木共通特記仕様書第1編共通編1－1－11建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）作成は、「コブリス・プラス」（（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）Web版入力システム） により行う。なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分（技術管理費）に含まれている。

1－16. 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1，000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書（鶴岡市，様式第10号の3）により監督職員に提出しなければならない。

1－17．前金払について

1. 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書（鶴岡市，様式第10号の2）に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書（鶴岡市，様式第10号の3）の写しを添えて提出するものとする。

1－18．工事名標示板に関する事項（安全確保関係）

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	（例）排水路整備工事中
工事内容の説明	（例）砂防施設下流の水路を作っています

1－19．交通安全に関する事項（交通安全管理関係）

1. 施工方法

本工事の施工にあたっては、全面通行止めにより施工するものとする。

2. 交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員 10 名を計上している。

1－20．事業損失に関する事項（環境対策関係）

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

1－21．他工事との関連事項について（工程関係）

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1－22．施工時期、時間、施工方法に関する事項（工程関係）

1. 本工事の作業時間帯は、8:30～17:00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。
2. 工期には雨休率0．83※を見込んでいる。

※施工に必要な日数に対し、土日・祝日・年末年始休暇（6日）夏季休暇（3日）を休日とした日数及び天候による作業不能日（1日の降雨・降雪量10㎜/日以上及び8時～17時までのWGBT値31以上の時間を合計して換算した日数（過去5年平均））を見込むための係数

1－23．災害時の協力体制

1. 緊急巡回

(1) 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。

(2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。

(3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。

(4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1－24．事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（山形県、参考様式5）を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。

2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。

3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ（http://www.pref.yamagata.jp）

→ 県政情報

→ 山形県の紹介

→ 組織案内

→ 県土整備部

→ 建設企画課

→ 共通仕様書（土木工事）

1－25．工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。

2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

1－26．デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図る

ものである。

本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下「使用機器」という）については、共通仕様書　写真管理基準「2－2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」

（URL：https://www.cryptrec.go.jp/list.html）

に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」

（URL：https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）

を参照とすること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書　写真管理基準「2－2 撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書　写真管理基準（デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、前項に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2－4 写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6．写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

1－27．1日未満で完了する作業の積算

1.「1日未満で完了する作業の積算」（以下「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。

2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。

3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せで1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。

4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際に費用がわかる資料等）を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

5.「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準

以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

6. 1日未満積算基準「3. 判定方法 (3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1－19 施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

1－28. 労働者確保に関する積算方法の試行工事

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について(以下「実績変更対象間接費」という) 、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書(山形県県土整備部)の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

営 繕 費:労働者送迎費、宿泊費、借上費
(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(土木工事標準積算基準書に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。

(1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費
(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合:12. 82%

(2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費
(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合:1. 52%

3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

1－29. 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1－1－45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

1－30．建設現場における遠隔臨場について

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

ただし通信環境が整わない現場や工種によって不十分、非効率になってしまう恐れのある場合は、この限りではない。

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することができるとする。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」・「材料確認」と「立会」を行うものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するものとする。

(3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

(6) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

1－31．週休2日確保工事について

1. 本工事は4週8休以上の現場閉所を実施する週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確

認すること。

2. 発注者は、週休2日確保工事において完全週休2日（土日）の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行するものとする。

3. 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。



~~1－32．週休2日確保工事について~~

1－33．ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

(1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。

(2) 休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。

(3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3. ワンデーレスポンスの再徹底

(1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

4. 留意事項

(1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。

(2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

1－34．情報共有システム利用の対象工事

1. 本工事は、情報共有システムを利用する対象工事であり、情報共有システムを利用することを原則とする。ただし、契約締結後に受注者が監督職員と協議し、通信回線を確保出来ない等の理由により利用することが困難と判断した場合は、この限りでない。

2. 使用する工事情報共有システムは、LGWAN 環境で使用できるものを選定し、監督員の承諾を得たうえで決定すること。

3. 情報共有システムの利用に関する費用については、共通仮設費の率分に含まれる。 また、登録料及び利用料については、受注者が支払うものとする。

4. 情報共有システムの利用については、「鶴岡市情報共有システム利用要領」に基づき実施すること。

5. これらに定められていない事項は、監督職員と協議するものとする。

6. 情報共有システムの運用にあたっては、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」を準用し実施するものとする。ガイドラインは山形県のホームページから入手できる

山形県のホームページ（http://www.pref.yamagata.jp）

→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課

→ CALS/EC → 山形県の情報共有

1－35．中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1. 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
2. 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

   なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

   ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合
   ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
   ③ 調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
3. 受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

1－36．その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。了解を得ずに増工（増額）したものについては変更の対象としない。
2. 当初工程表より現場着工時期（実作業期間）に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

第2章　土　　工

2－1．残土受入地

受注後、土砂運搬工着手までに発注者が搬出先を決定する。運搬距離及び処分費については、協議するものとする。なお、発注時の運搬距離は 29km としている。

第3章　無筋・鉄筋コンクリート

3－1．配　合

1.下記工種のコンクリートは、共通仕様書（参考資料） レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工　　種	区分番号	呼び強度	摘　　要
水路工 調整コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
集水桝工 コンクリート	⑨	21N/mm^2	21-8-25

縦排水工 コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
擁壁工 胴込コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
擁壁工 現場打ちコンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
擁壁工 天端コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
擁壁工 土台コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
小口止工 小口止コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40
すり付け工 コンクリート	②	18N/mm^2	18-8-40

第2編 材料編

第1章 一般事項

1－1. 指定材料の確認

1. 工事に使用する指定材料の品質規格は次表のとおりとする。

材 料 名	規 格	工種	摘 要
溶融スラグ骨材を用いた二次製品名			品質規格は、JIS に準ずる

2. 本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。
3. 防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。
4. 溶融スラグ骨材を用いたコンクリート二次製品の品質規格は JIS（溶融スラグ骨材については、JIS に準じる）によるが、使用材料やスラグの細骨材混合率などの詳細は、「山形県特定調達物品等調達方針」、「溶融スラグの有効利用に係わるガイドライン（案）」によるものとする。

1－2. 工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

1－3. 納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある（例えば二次製品、路盤材料の入替えなど）。

第2章 土木工事材料

2－1. 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材 料 名	規　格	使用箇所	摘　要
再生クラッシャーラン	80 ㎜以下	基礎砕石他	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As13	表層	

1.再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破砕、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の砕石、ズリ、コンクリートを製造し破砕したもの等）が混合されていない状態のものをいう。

2.下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生砕石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。

3.修正 CBR

下層路盤材　修正 CBR 値　40％以上

歩道路盤材　修正 CBR 値　20％以上

２－２. 購入土

1. 適用用途に応じた土質区分の再利用土砂の使用を原則とし、監督職員の承諾を得なければならない。
2. 路床に使用する購入土は、CBR12％以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

２－３. セメント

工事に使用するセメントは、高炉セメント（JIS R5211）B種とし、その種類については監督職員の承諾を得なければならない。

２－４. セメントコンクリート製品等

1. 工事に使用する指定材料の品質規格は次表のとおりとする。

材 料 名	規　格	工種	摘　要
溶融スラグ骨材を用いた二次製品名			品質規格は、JIS に準ずる

2. 本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。
3. 防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。
4. 溶融スラグ骨材を用いたコンクリート二次製品の品質規格は JIS（溶融スラグ骨材については、JIS に準じる）によるが、使用材料やスラグの細骨材混合率などの詳細は、「山形県特定調達物品等調達方針」、「溶融スラグの有効利用に係わるガイドライン（案）」によるものとする。

2－5. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規　格	調達地域等
砕石	RC-40	庄内地区
砕石	M-40	庄内地区

第3編　土木工事共通編

第1章　総則

1－1. 段階確認

共通仕様書　第 3 編　共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種　別	細　別	確認時期
準備工	丁張り確認	丁張り完了時

1－2. 工事中の安全確保

土木工事にあっては、共通仕様書　第 1 編　1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第 496 号、令和元年 9 月 2 日）を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

第2章　一般施工

2－1. 濁水処理

1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。
2. 「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者（受注業者）は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を把握し処理業者に提供することが必要である。

2－2. 舗装工

道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなってはならない。

２－３．瀝青材料の散布

プライムコートの使用量は1．26 L/㎡を標準とする。

タックコートの使用量は0．43L/㎡を標準とする。

２－４．工事現場の現場環境改善費

1．本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。

この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。

2．現場環境改善を行う内容は、下記の4計上費目ごとに1内容ずつの計4つの内容を選定のうえ、実施するものとする。

3．上記のほか熱中症・防寒対策を実施するものとし、費用については対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上にて設計変更の対象とする。なお積み上げによる費用は、率分で計上される額の 100%を上限とし、設計変更時に費用を証明するもの（領収書等）を提出するものとする。

計上費目	実施する内容（率計上分）
設備関係	1．昇降設備の充実 2．環境対策の充実 3．ICT 設備の充実 4．作業負荷の低減
営繕関係	1．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2．労働者宿舎の充実 3．現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） 4．衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1．工事標識・照明等安全施設の充実 2．盗難防止対策 3．健康関連施設の充実 4．野生生物・害虫対策
地域連携	1．広法活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等） 2．見学会・イベント等の開催（見学施設等の設置・管理運営等含む） 3．社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4．現場景観向上（美装化・デザイン看板等）

3．受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。

4．以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意

すること。

(1) 仮設関係：仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット

(2) 営繕関係：デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置

(3) 安全関係：バリケード、転落防止柵

２－５．熱中症対策に資する現場管理費の補正を行う試行工事

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を行う試行工事の対象とする。

１．熱中症対策、気温等の計測方法等について、次の事項を施工計画書に記載すること。

(1)熱中症対策

施工計画書の安全管理の項目に実施予定である熱中症対策について記載すること。

併せて、熱中症発生時（疑いを含む。）の報告先、熱中症よる健康障害発生時の対応計画も記載すること。

(2)計測方法

現場最寄りの気象庁の地上気象観測所（気温）又は環境省観測地点（WBGT）

(3)計測結果の報告方法

２．計測結果を基に算定した真夏日率に応じた現場管理費の補正は、変更設計にて行うものとする。

~~２－６．快適トイレの設置~~

一 般 明 示 事 項

１－１．提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第３条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画（変更）報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

１－２．施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、維持工事や小規模工事（請負金額200万円以下）においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

１－３．環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

現 場 説 明 事 項 書

湯温海排水路工事

［　共通事項　］

１．現場説明事項書について

現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が充分な見積りができるよう条件明示するものです。

そのため、明示された条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項に基づき、適切に対応するものです。また、明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件についても、契約書の関連する条項にもとづき受注者と発注者とが協議できるものです。

［　建設資材の価格変動及び出荷停止等に伴う対応について　］

本工事の施工にあたり、昨今の国際情勢の不安に起因する建設資材の調達難等に対しては、以下のとおり対応するものとします。

・建設資材の著しい価格変動や出荷停止等が生じた場合は、鶴岡市建設工事請負契約約款第 22 条第 1 項及び第 26 条 5 項の規定に基づき、発注者は工期の延長及び請負代金額の変更等の請求に応じ、協議するものとします。

・資材の出荷停止等に伴い、工事の継続が困難であると認められる場合は、鶴岡市建設工事請負契約約款第 21 条第 2 項の規定に基づき、発注者は工事の一時中止を判断し、通知するものとします。

・上記に伴う工事の一時中止期間中においては、受注者の申し出により、本工事における現場代理人の他工事との兼任を認めるものとします。

［　工事における調整事項　］

本工事は寺院(長徳寺)周辺での施工となり、時期によっては参詣者が著しく増加することが見込まれます。当該期間は工事の一時中止及び交通の開放を要するという前提で、事前に長徳寺に当該時期の具体的な日程を照会し、発注者と協議のうえ工事の計画立案及び施工に当たってください。なお、工期等の制約によりやむを得ず同期間に施工を行う場合は、参詣者の円滑な通行に支障をきたさぬよう、事前に作業箇所や作業時間帯等について十分な協議・調整を行うとともに、適切な交通誘導員の配置や工事用車両の待機場所の確保など、交通への配慮と安全確保のための万全な対策を講じ、工事の円滑な遂行に努めてください。

数 量 総 括 表

上段：当初
下段：変更

（湯温海排水路工事）

工　種	種　別	規　格	単位	計算数量	設計数量	摘　要
流路工整備工事						
土工						
掘削工						
	掘削	小規模	m3	39.7	40	
	床堀	小規模	m3	72.7	70	
盛土工						
	路床盛土	購入土(丘砂) W＜2.5m	m3	13.8	10	
埋戻工						
	埋戻し	流用土 小規模	m3	28.2	30	
	フィルター材	購入土(埋設管用保護用砂)	m3	1.6	2	1.4+0.2=1.6
	購入土		m3	19.4	20	V=(13.8+1.6)×1.26(変化率)
残土処理工						
	土砂等運搬(機械積込)	DT4T　土砂　L=35.0km以下	m3	83.5	80	
流路工						
暗渠排水管						
	〃	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 内面平滑管　呼径400mm	m	1.9	2	継手材料費:無
水路工						
	可変勾配側溝	B400×H600型	m	6.9	7	
	〃	B400×H700型	m	15.1	15	
	可変勾配側溝用溝蓋	車道用　400型　61kg/枚	枚	20	20	22÷2÷0.5-2＝20
	グレーチング溝蓋	車道用　400型　21kg/枚	枚	2	2	
	調整コンクリート	18-8-40(高炉)	m3	0.6	0.6	
	場所打ち側溝	B600×H500型	m	1.0	1	

数 量 総 括 表

上段：当初
下段：変更

（湯温海排水路工事）

工　種	種　別	規　格	単位	計算数量	設計数量	摘　要
集水桝工						
	第5号集水桝	SM-B1000-L700-H700	箇所	1	1	
	第6号集水桝	SM-B2000-L1000-H1000	箇所	1	1	
函渠工						
	函渠工	RBC-B500-H500	m	0.9	0.9	
縦排水工						
	基礎砕石	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　0～80mm t=15cm	m2	1.3	1	
	裏込材（砕石）	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　0～80mm	m3	0.9	0.9	
	型枠	小型構造物	m2	21.1	21	
	コンクリート	18-8-40（高炉）	m3	4.7	5	
	跳水防止版	400用	m	3.5	4	
	オールアンカー	M12　SUS	本	22	22	
擁壁工						
コンクリートブロック積工						
	大型ブロック積	控え700mm	m2	28.1	28	
	大型ブロック（材料費）	ナウロック70(擬石模様)	m2	24.0	24	
	胴込コンクリート	18-8-40（高炉）	m3	5.0	5	
	現場打ちコンクリート	18-8-40	m3	2.9	3	
	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	小型構造物	m2	8.2	8	
	裏込材（砕石）	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　0～80mm	m3	9.6	10	
	目地材	瀝青繊維質目地 厚10㎜	m2	13.9	14	
	天端コンクリート	1:0.3 Co1.47m3/10m	m	7.1	7	
	土台コンクリート	1:0.3 Co5.33m3/10m	m	6.9	7	
小口止工						
	小口止コンクリート	小型構造物 Co1.62m3	箇所	2	2	

数 量 総 括 表

上段：当初
下段：変更

（湯温海排水路工事）

工　種	種　別	規　格	単位	計算数量	設計数量	摘　要
すり付け工						
	型枠	無筋構造物	m2	5.2	5	
	コンクリート	18-8-40、無筋構造物	m3	1.3	1	
	目地材	瀝青繊維質目地 厚10mm	m2	1.3	1	
転落防止柵工						
	転落防止柵	P種	m	12	12	
舗装復旧工						
アスファルト舗装復旧						
	下層路盤 （車道・路肩部）	再生クラッシャーラン RC-40,t＝15cm	m2	52.5	53	
	上層路盤 （車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40,t＝15cm	m2	72.1	72	
	表層（1.4≦W＜3.0m） （車道・路肩部）	再生密粒度As（13） t＝5cm	m2	65.2	65	
	表層（W＜1.4m） （車道・路肩部）	再生密粒度As（13） t＝5cm	m2	31.0	31	
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
	ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊し(機械)	無筋構造物	m3	2.8	3	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊し(機械)	鉄筋構造物	m3	0.2	0.2	
	石積取壊し	練積　控45cm未満	m3	12.8	13	
	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 t＝5cm	m	7.9	8	
	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 t＝5cm	m2	113.2	110	
運搬処理工						
	殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	5.7	6	
		無筋構造物	m3	2.8	3	
		鉄筋構造物	m3	0.2	0.2	
		石積み	m3	12.8	13	

数 量 総 括 表

上段：当初
下段：変更

（湯温海排水路工事）

工　種	種　別	規　格	単位	計算数量	設計数量	摘　要
殻処分費						
	処分費	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	5.7	6	
		無筋構造物	m3	2.8	3	
		鉄筋構造物	m3	0.2	0.2	
		擁壁殻 無筋構造物	m3	13.0	13.0	
濁水運搬・処分費						
	濁水運搬		m3	0.01	1	
	濁水処理費		m3	0.01	0.1	
仮設工						
水替工						
	ポンプ運転工	作業時 0≦排水量＜40m3/h	式	1	1	
	ポンプ設置・撤去		式	1	1	
交通管理工						
	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式	1	1	

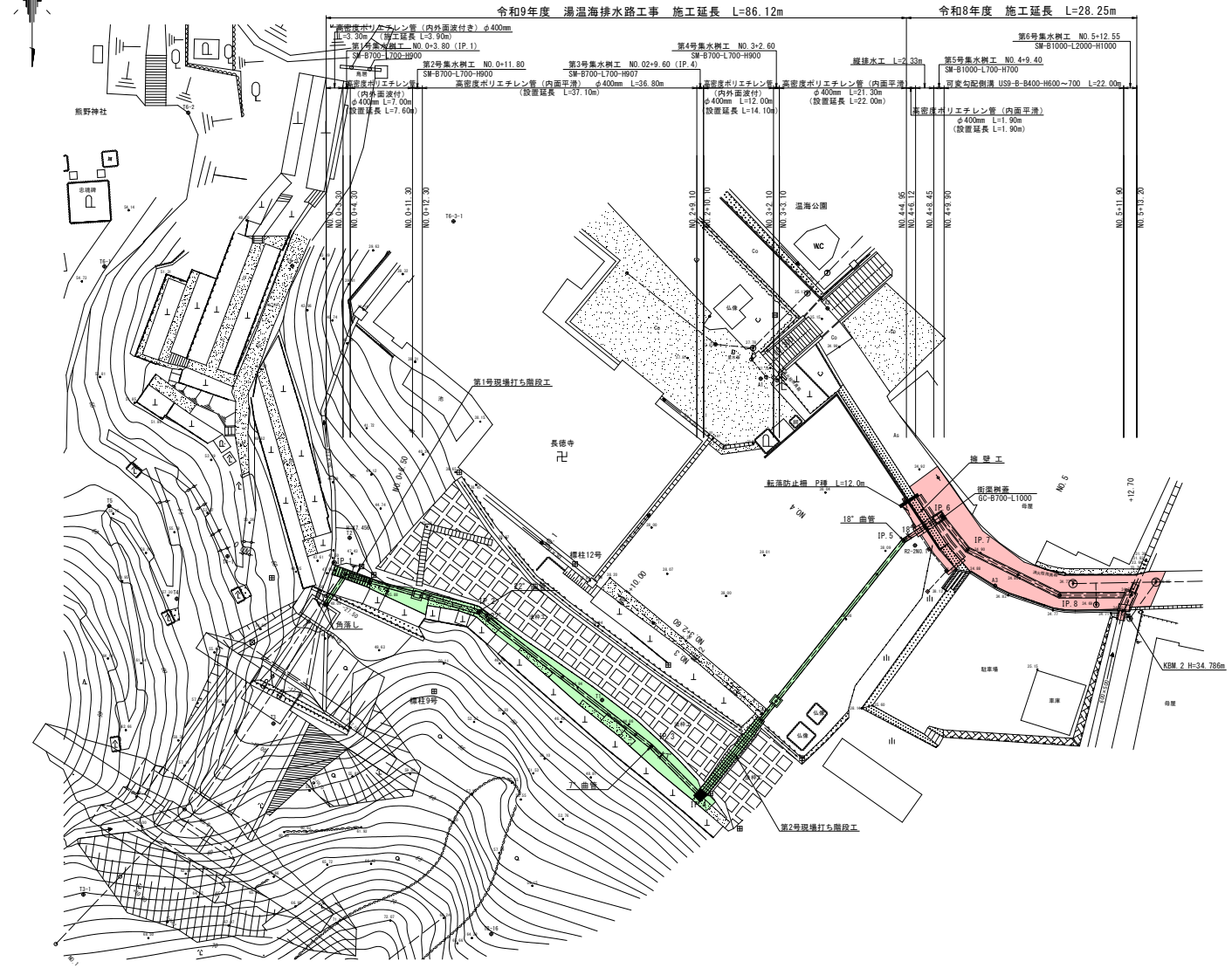


実　施

令　和　8　年　度		図　番	15　葉　1
路線名又は箇所名	市道逆園地通線		
工　事　名	湯温海排水路工事		
位　　置	鶴岡市湯温海　地内		
位置平面図			1　葉　1
縮　尺　S=1/10,000		鶴　岡　市	

湯温海地内排水路平面図

S=1:250

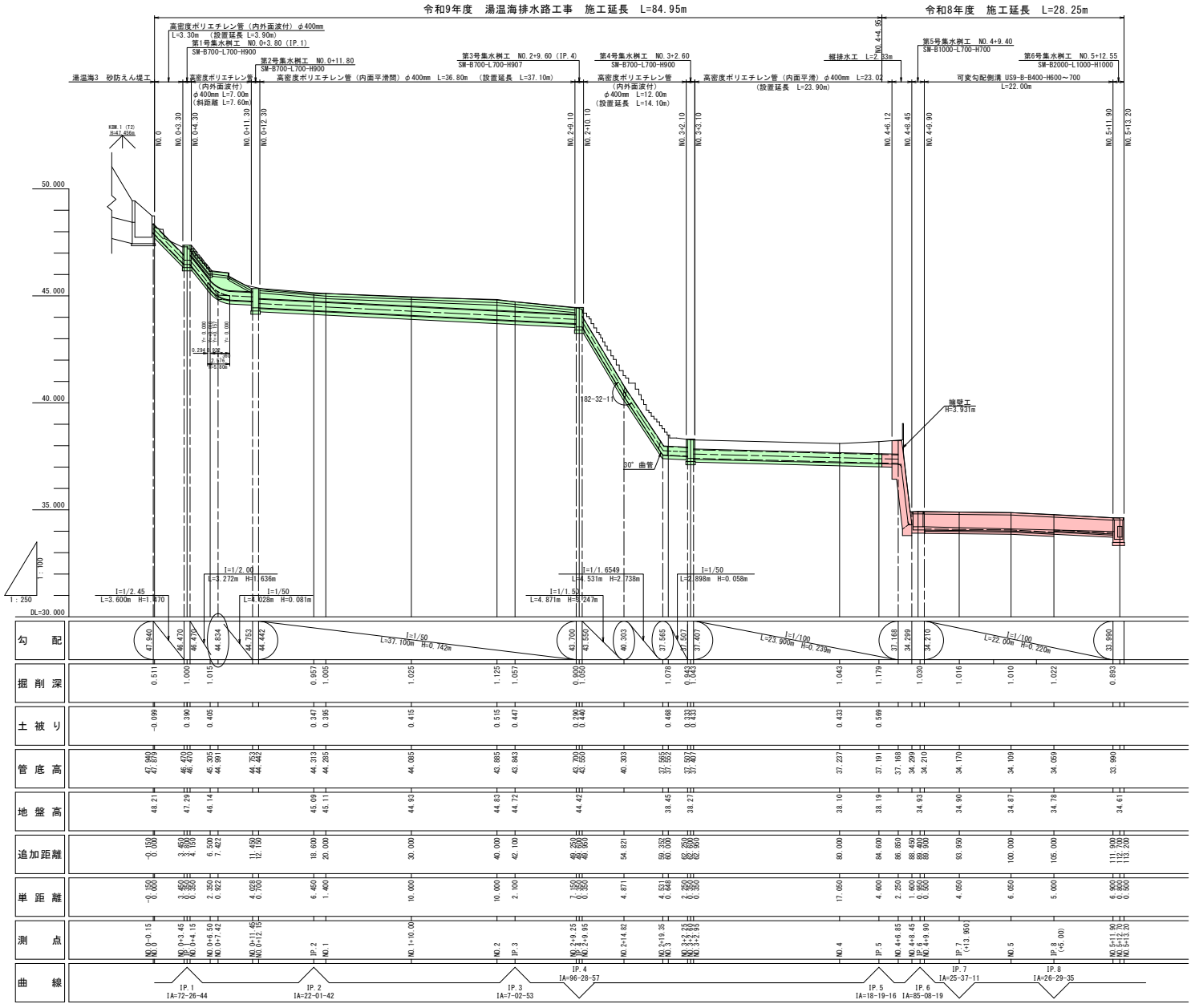


実施

令和8年度		図番	15 葉 2
路線名又は箇所名	市道道園地通線		
工事名	湯温海排水路工事		
位置	鶴岡市湯温海　地内		
計画一般図			1 葉 1
縮尺	S=1/250	鶴岡市	

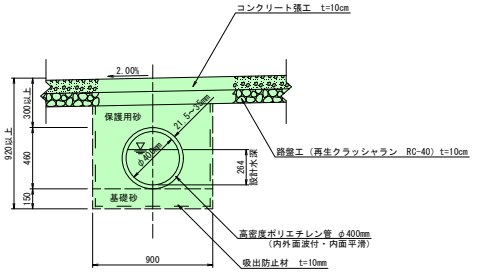
縦　断　図

V=1/100
H=1/250



標準断面図

S=1/20



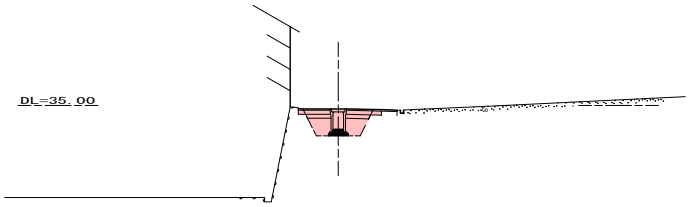
ー・ー・ー・ー 一点鎖線は計算箇所
勾配欄　計画高さ位置は 高密度ポリエチレン管箇所は集水桝内側
他可変勾配側溝は集水桝外側

実施

令和8年度		図番	15 葉 3
路線名又は箇所名	市道逆園地通線		
工事名	湯温海排水路工事		
位置	鶴岡市湯温海　地内		
縦断図・標準断面図		1 葉 1	
縮尺	図示	鶴岡市	

NO.5

GH=34.87
FH=34.109

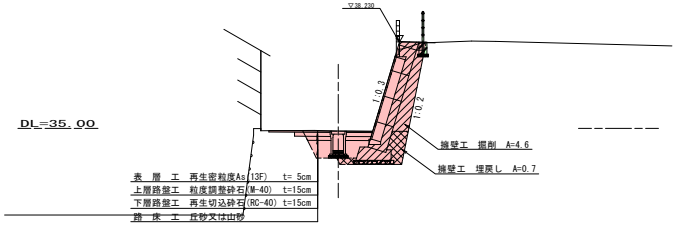


NO.5

記号	数量
C1	—
C2	2.1
B1	—
RB1	—
RB2	—
RB3	—
RB4	0.9
L	—

IP.7 (NO.4+13.95)

GH=34.90
FH=34.170

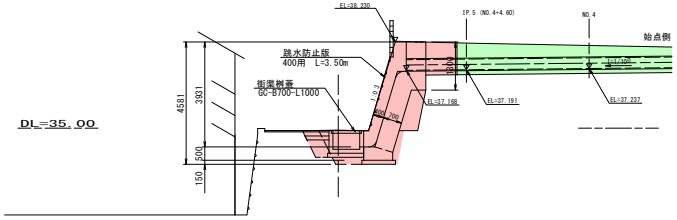


IP.7 (NO.4+13.95)

記号	数量
C1	—
C2	2.2
B1	—
RB1	—
RB2	—
RB3	—
RB4	1.0
L	—

IP.6 (NO.4+9.40)

GH=34.93
FH=34.210

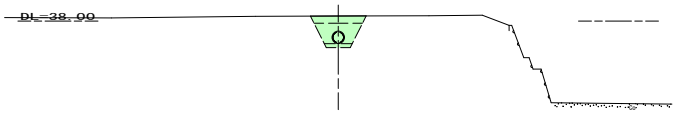


IP.6 (NO.4+9.90)

記号	数量
C1	—
C2	1.9
B1	—
RB1	—
RB2	—
RB3	—
RB4	—
RB4	0.8
L	—

IP.5 (NO.4+4.60)

GH=38.19
FH=37.191

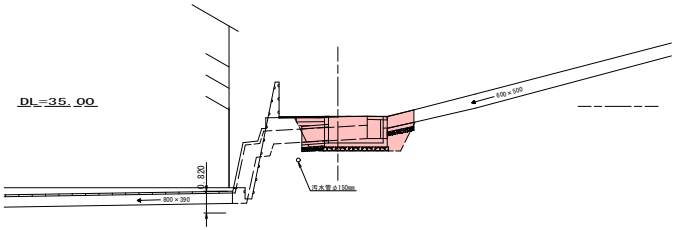


IP.5 (NO.4+4.60,+6.12)

記号	数量
C1	—
C2	1.8
B1	—
RB1	0.5
RB2	0.9
RB3	0.1
RB4	—
L	—

NO.5+12.70

GH=34.61
FH=33.990

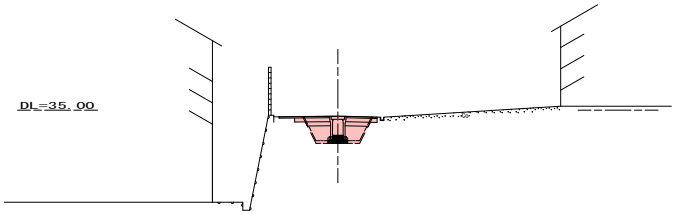


NO.5+11.90

記号	数量
C1	—
C2	1.8
B1	—
RB1	—
RB2	—
RB3	—
RB4	0.7
L	—

IP.8 (NO.5+5.00)

GH=34.78
FH=34.059



IP.8(NO.5+5.00)上流

記号	数量
C1	—
C2	2.1
B1	—
RB1	—
RB2	—
RB3	—
RB4	0.9
L	—

IP.8(NO.5+5.00)下流

記号	数量
C1	—
C2	1.9
B1	—
RB1	—
RB2	—
RB3	—
RB4	0.7
L	—

凡例

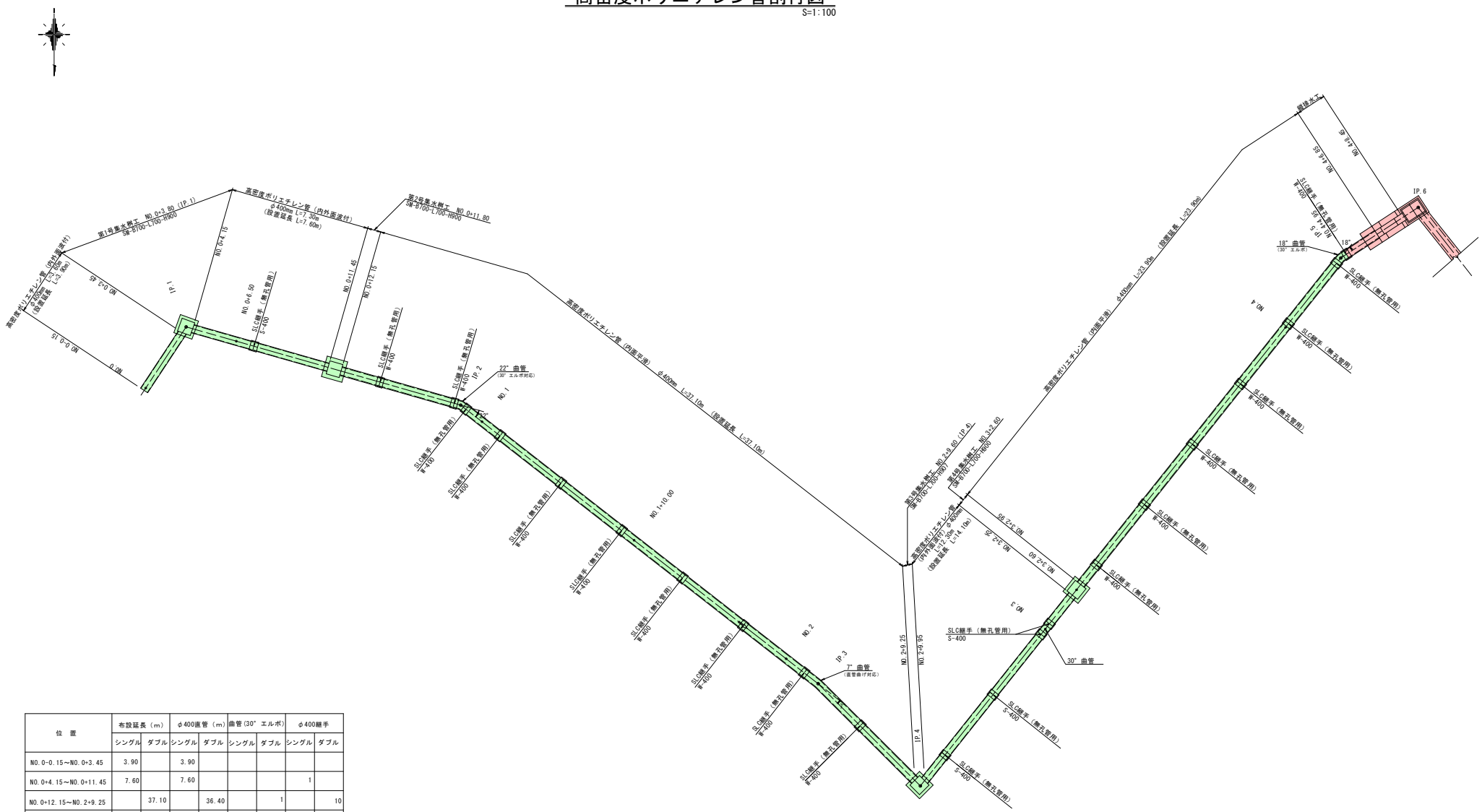
区分	規格	記号
機械掘削		C1
機械床堀		C2
盛土	流用土	B1
埋戻し	流用土	RB1
埋戻し	保護用砂	RB2
埋戻し	基礎砂	RB3
路床工	山砂	RB4
吸出し防止材	t=10mm	L

実施

令和8年度	図番 15 葉 4
路線名又は箇所名	市道逆圃地通線
工事名	湯温海排水路工事
位置	鶴岡市湯温海 地内
IP.5 (NO.4+4.60)～NO.5+12.70 横断図	3 葉 3
縮尺 S=1/100	鶴岡市

高密度ポリエチレン管割付図

S=1:100



位　置	布設延長（m）		φ400直管（m）		曲管(30° エルボ)		φ400継手	
	シングル	ダブル	シングル	ダブル	シングル	ダブル	シングル	ダブル
NO.0−0.15～NO.0+3.45	3.90		3.90					
NO.0+4.15～NO.0+11.45	7.60		7.60				1	
NO.0+12.15～NO.2+9.25		37.10		36.40		1		10
NO.2+9.95～NO.3+2.25	14.10		13.10		1		4	
NO.3+2.95～NO.4+6.85		23.90		23.20		1		7
合　計	25.60	61.00	24.60	59.60	1	2	5	17

実　施

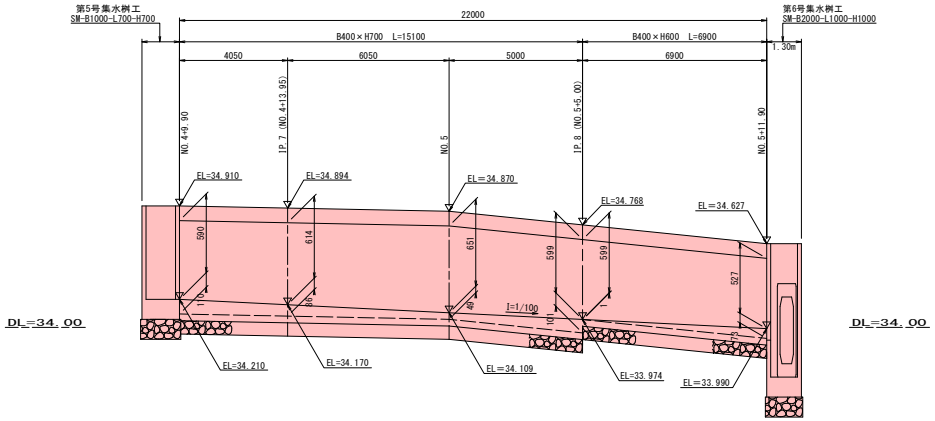
令　和　8　年　度		図　番	15　葉　5
路線名又は箇所名	市道遊園地通線		
工　事　名	湯温海排水路工事		
位　置	鶴岡市湯温海　地内		
高密度ポリエチレン管割付図		1　葉　1	
縮　尺　S=1/100	鶴　岡　市		

排 水 構 造 図 1/1

可変勾配側溝展開図

NO.4+9.90～NO.5+11.90

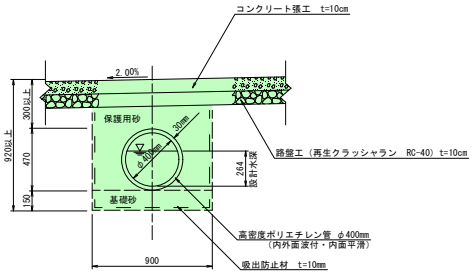
V=1: 20
H=1: 50



排水溝一般図

S=1:20

高密度ポリエチレン管
φ400mm（内外面波付・内面平滑）

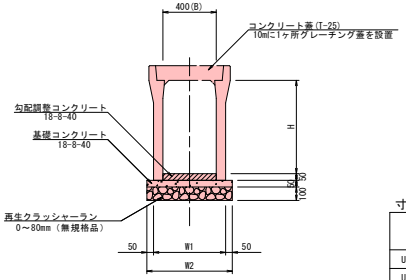


U型側溝一般図

S=1:20

可 変 勾 配 側 溝
US9-B-B400-H600～700

400型



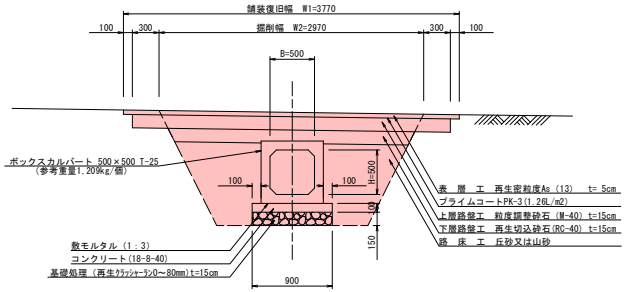
寸 法 表

記 号	寸 法 (mm)				参考質量 (kg/個)	備 考
	B	H	W1	W2		
US9-B-B400-H600	400	600	540	640	590	
US9-B-B400-H700	400	700	540	640	715	

函 渠 工

(RCB-B500-H500) S=1:30

施工箇所 NO.5+12.55



床 堀 C2=2.8
埋戻し Rb=1.3

実 施

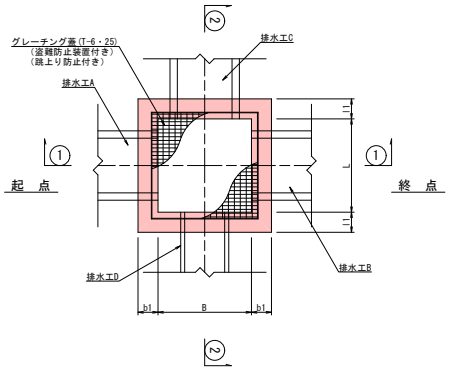
令 和 8 年 度		図 番	15 葉 6
路線名又は河川名	市道遊園地通線		
工 事 名	湯温海排水路工事		
位 置	鶴岡市湯温海 地内		
排水工一般図			1 葉 1
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

集 水 桝 工 構 造 図 1/4

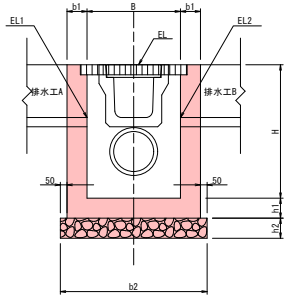
集 水 桝 詳 細 図

S=1:20

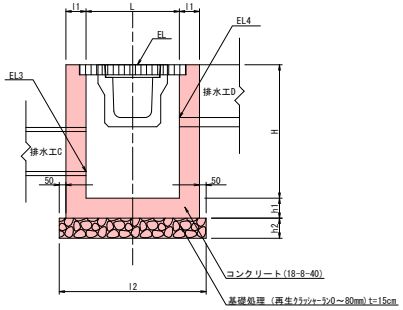
平 面 図



① ― ①



② ― ②

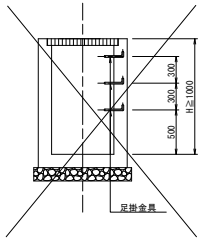


本 体 寸 法 表

集水桝NO	測 点	記 号	B	b1	L	l1	H	h1	h2	EL	排水工A EL1	排水工B EL2	排水工C EL3	排水工D EL4	蓋	足掛金具	排水方向	備 考
第1号	NO. 0+ 3.80 (IP.1)	SM-B700-L700-H900	700	150	700	150	900	150	150	47.370	高密度PE排水管 φ400mm 46.470	高密度PE排水管 φ400mm 46.470	―	―	グレーチング蓋 (T-6) (700×700用)	―		
第2号	NO. 0+11.80	SM-B700-L700-H900	700	150	700	150	900	150	150	45.342	高密度PE排水管 φ400mm 44.753	高密度PE排水管 φ400mm 44.442	―	―	グレーチング蓋 (T-6) (700×700用)	―		
第3号	NO. 2+ 9.60 (IP.4)	SM-B700-L700-H907	700	150	700	150	907	150	150	44.457	高密度PE排水管 φ400mm 43.700	―	高密度PE排水管 φ400mm 43.550	―	グレーチング蓋 (T-6) (700×700用)	―		
第4号	NO. 3+ 2.60	SM-B700-L700-H900	700	150	700	150	900	150	150	38.307	高密度PE排水管 φ400mm 37.507	高密度PE排水管 φ400mm 37.407	―	―	グレーチング蓋 (T-25) (700×700用)	―		
第5号	NO. 4+ 9.40 (IP.6)	SM-B1000-L700-H700	1000	150	700	150	700	150	150	34.910	縦排水工 B400×H400 34.299	―	―	可変勾配側溝 B400×H700型 34.210	街渠桝蓋 GC-B700-L1000 (700×1000用)	―		
第6号	NO. 5+12.55	SM-B1000-L2000-H1000	2000	150	1000	150	1000	150	150	34.627	可変勾配側溝 B400×H600型 33.990	―	面 渠 工 B500×H500型 33.727	現場打水路 B600×H500型 34.187	グレーチング蓋 (T-25) (1000×2000用)	―		別構造図あり

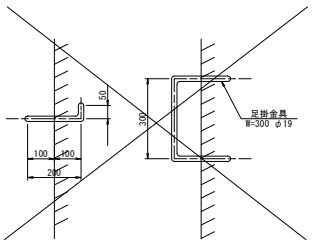
足掛金具配置図

S=1:30



足掛金具詳細図

S=1:10



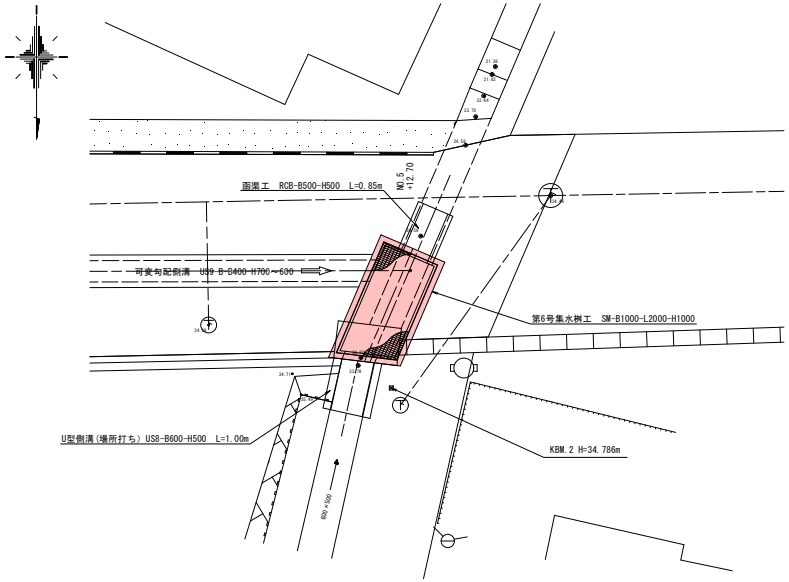
実施			
令 和 8 年 度		図 番	15 葉 7
路線名又は箇所名	市道逆園地通線		
工 事 名	湯温海排水路工事		
位 置	鶴岡市湯温海 地内		
集水桝工構造図 1/4		4 葉 1	
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

集水桝工構造図 2/4

第6号集水桝工　SM-B2000-L1000-H1000

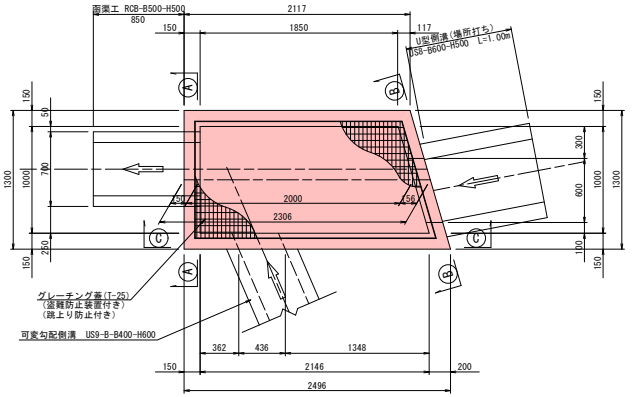
配置図

S=1:50



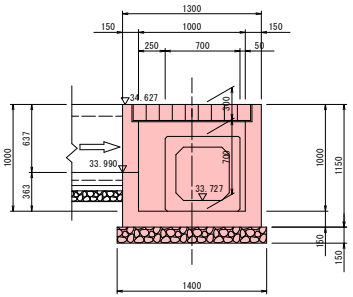
平面図

S=1:25



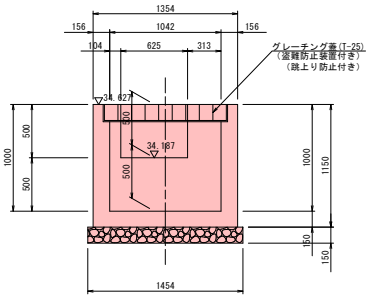
Ⓐ～Ⓐ断面

S=1:25



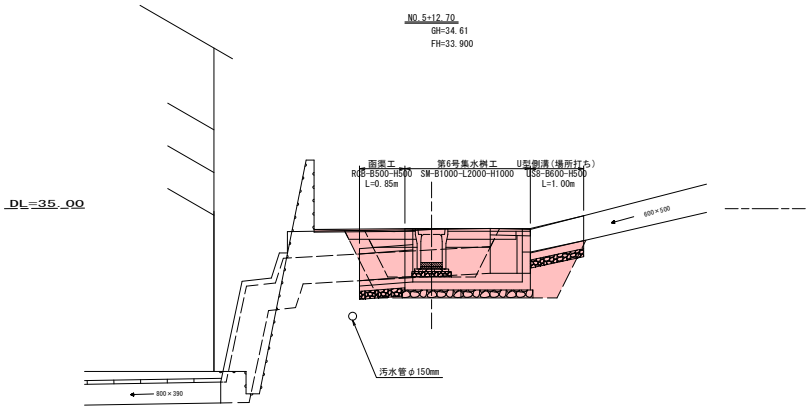
Ⓑ～Ⓑ断面

S=1:25



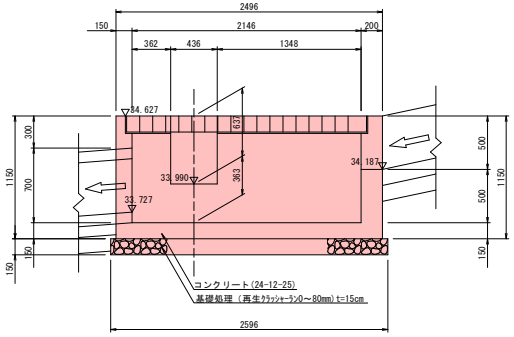
横断図

S=1:50



Ⓒ～Ⓒ断面

S=1:25



実施

令和8年度		図番	15 葉 8
路線名又は箇所名	市道逆圃地通線		
工事名	湯温海排水路工事		
位置	鶴岡市湯温海　地内		
集水桝工構造図 2/4		4 葉 2	
縮尺	図示	鶴岡市	

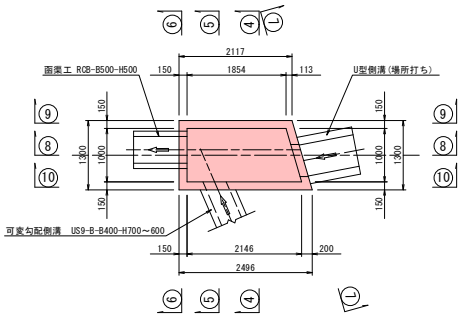
集 水 桝 工 構 造 図　3/4

第6号集水桝工　SM-B2000-L1000-H1000

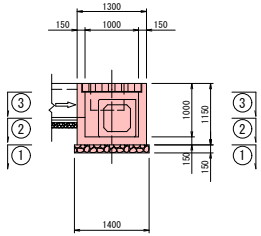
第6号 集水桝工断面位置図

S=1:50

平 面 図



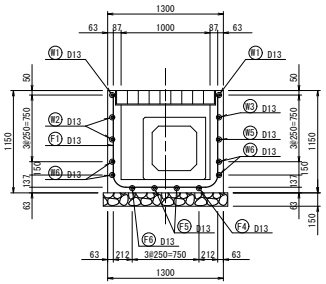
断 面 図



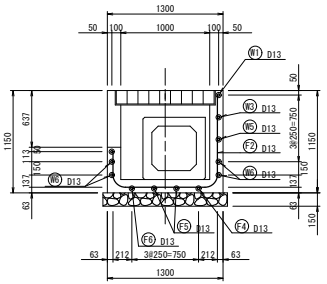
第5号　集水桝工配筋図図

S=1:30

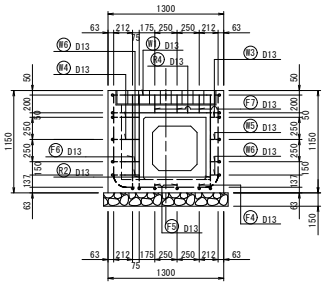
4－4 断面



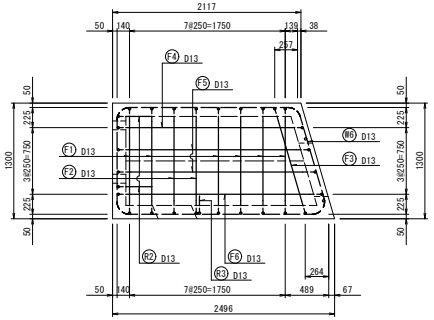
5－5 断面



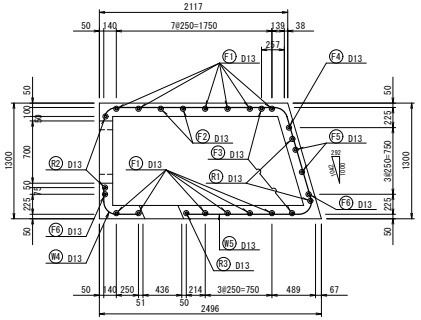
6－6 断面



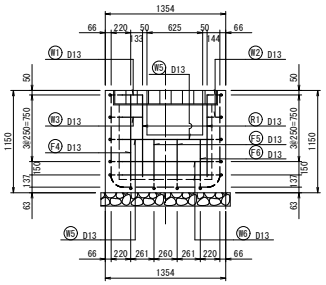
1－1 断面



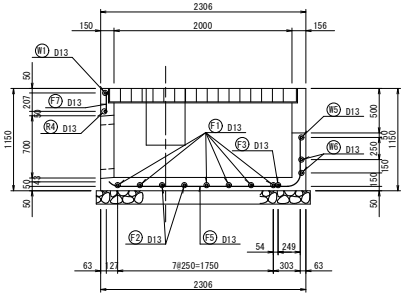
2－2 断面



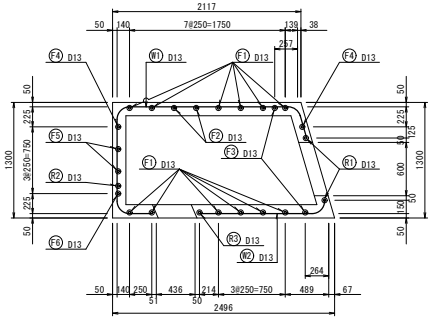
7－7 断面



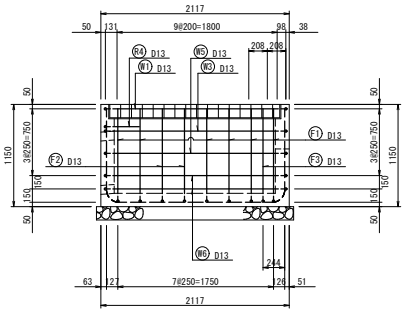
8－8 断面



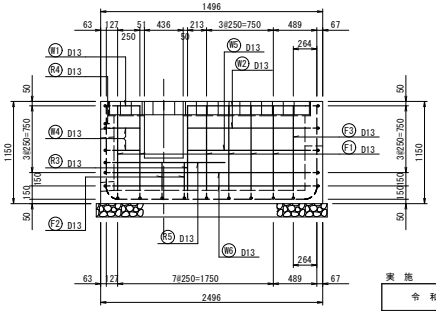
3－3 断面



9－9 断面



10－10 断面



実施

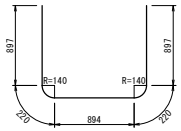
令 和 8 年 度		図 番	15 葉 9
路線名又は箇所名	市道逆圃地通線		
工 事 名	湯温海排水路工事		
位 置	鶴岡市湯温海　地内		
集水桝工構造図　3/4			4 葉 3
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

集水桝工構造図 4/4

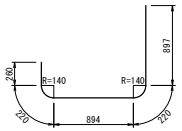
第6号集水桝工　SM-B2000-L1000-H1000

第6号 集水桝工鉄筋加工図

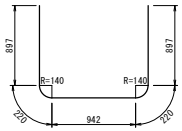
S=1:50



(F1) 6-D13×3128



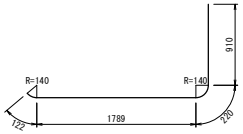
(F2) 2-D13×2491



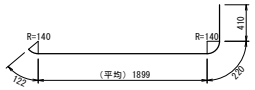
(F3) 1-D13×3176



(F7) 3-D13×200



(F4) 1-D13×3041

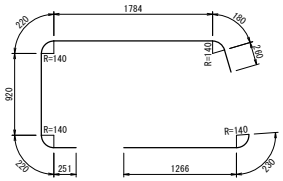


(F5) 2-D13×（平均）2651



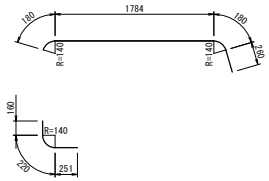
(F6) 1-D13×3768

(W1) 1-D13×3835

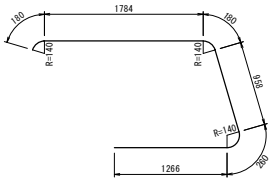


(W2) 2-D13×1496

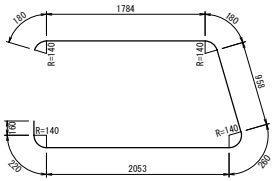
(W3) 1-D13×2404



(W4) 2-D13×631



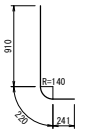
(W5) 1-D13×4628



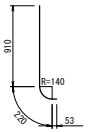
(W6) 2-D13×5795



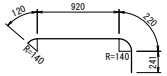
(R1) 2-D13×920



(R2) 2-D13×1371



(R3) 1-D13×1183



(R4) 1-D13×1501



(R5) 1-D13×1376

鉄筋数量表

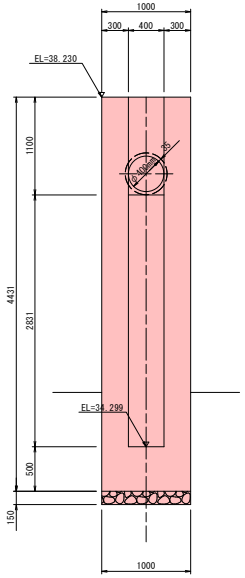
番号	径	長さ(m)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
(F1)	D13	3.130	6	0.995	3.114	18.684	
(F2)	D13	2.500	2	0.995	2.488	4.976	
(F3)	D13	3.180	1	0.995	3.164	3.164	
(F4)	D13	3.050	1	0.995	3.035	3.035	
(F5)	D13	(平均) 2.660	2	0.995	(平均) 2.647	5.294	
(F6)	D13	3.770	1	0.995	3.751	3.751	
(F7)	D13	0.200	3	0.995	0.199	0.597	
(W1)	D13	3.840	1	0.995	3.821	3.821	
(W2)	D13	1.500	2	0.995	1.493	2.986	
(W3)	D13	2.410	1	0.995	2.398	2.398	
(W4)	D13	0.640	2	0.995	0.637	1.274	
(W5)	D13	4.630	1	0.995	4.607	4.607	
(W6)	D13	5.800	1	0.995	5.771	5.771	
(R1)	D13	0.920	2	0.995	0.915	1.830	
(R2)	D13	1.380	2	0.995	1.373	2.746	
(R3)	D13	1.190	1	0.995	1.184	1.184	
(R4)	D13	1.510	1	0.995	1.502	1.502	
(R5)	D13	1.380	1	0.995	1.373	1.373	
計					D13	68.993kg	

実施

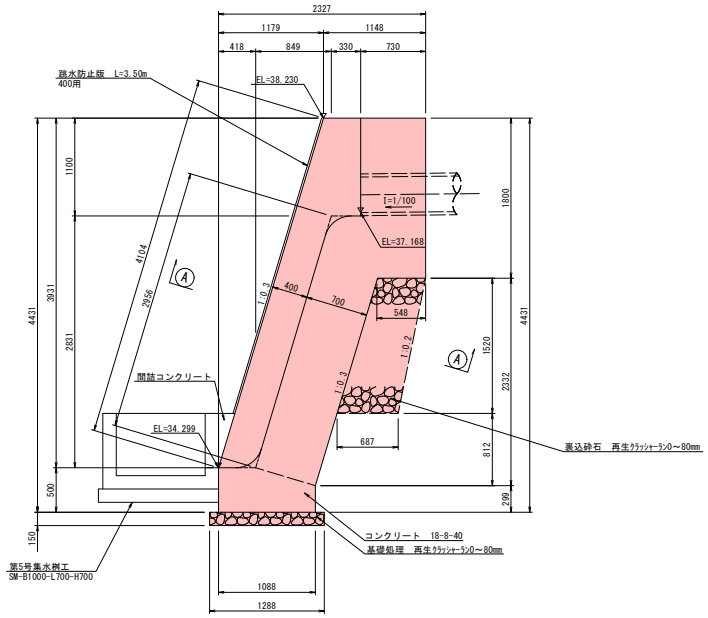
令和8年度		図番	15 葉 10
路線名又は箇所名	市道逆圃地通線		
工事名	湯温海排水路工事		
位置	鶴岡市湯温海　地内		
集水桝工構造図 4/4			4 葉 4
縮尺	図示	鶴岡市	

縦 排 水 工 構 造 図 1/1

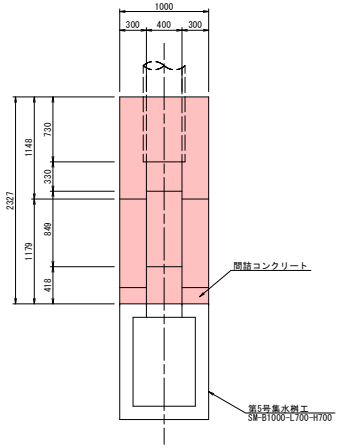
正 面 図
S=1:30



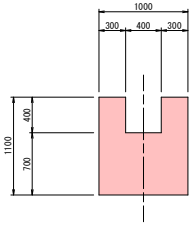
側 面 図
S=1:30



平 面 図
S=1:30



A～A断面図
S=1:30

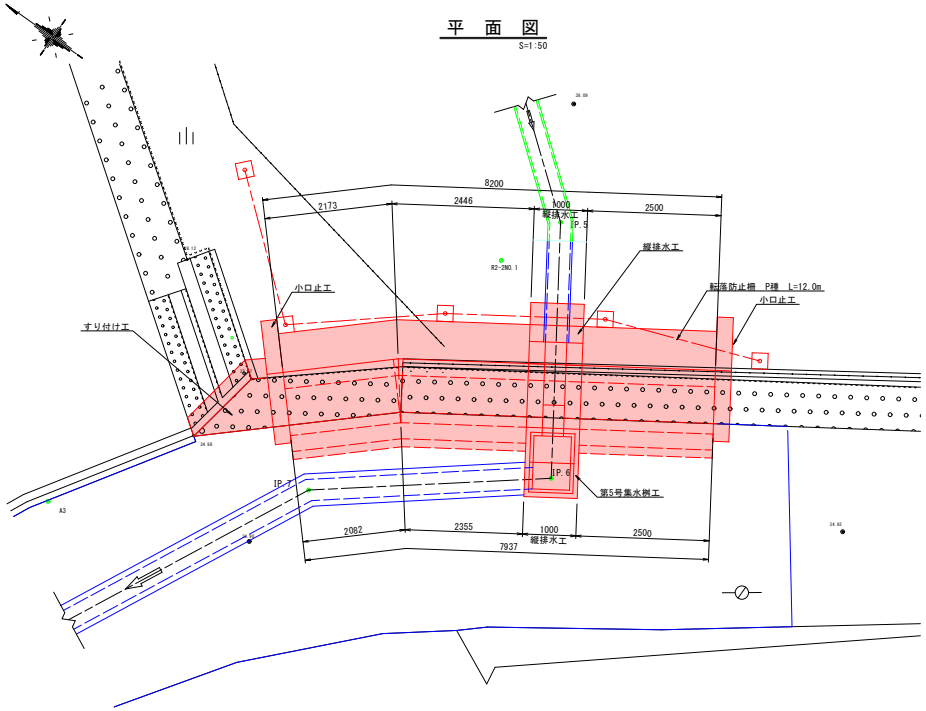


実 施

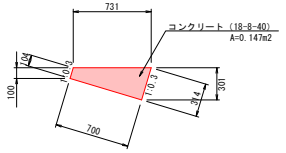
令 和 8 年 度		図 番	15 葉 11
路線名又は箇所名	市道逆圃地通線		
工 事 名	湯温海排水路工事		
位 置	鶴岡市湯温海 地内		
縦排水工構造図 1/1		1 葉 1	
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

擁壁工構造図 1/1

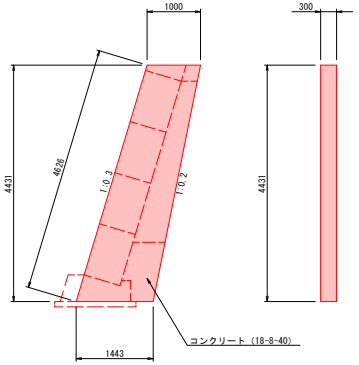
平　面　図
S=1:50



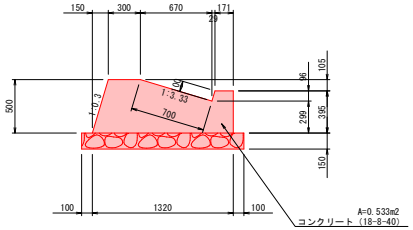
天端コンクリート詳細図
S=1:25



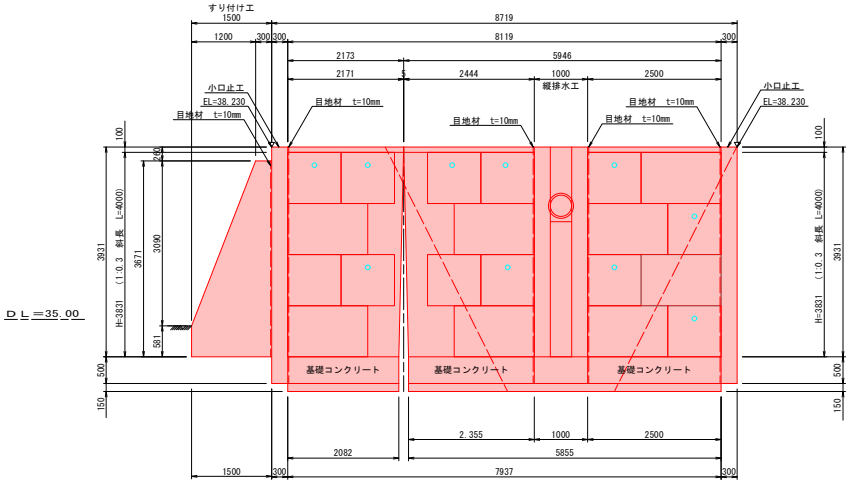
小　口　止　工
S=1:50



基礎コンクリート詳細図
S=1:25



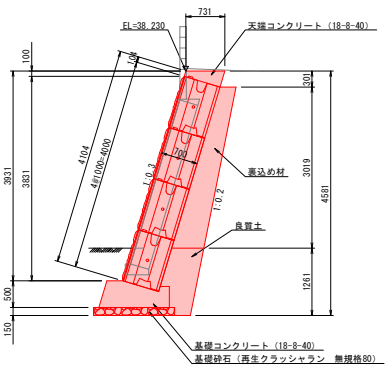
正　面　図
S=1:50



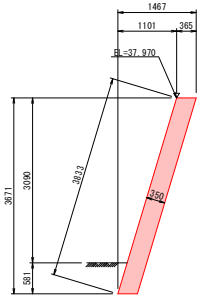
DL＝35.00

側　面　図
S=1:50

擁　壁　部



すり付け工



DL＝35.00

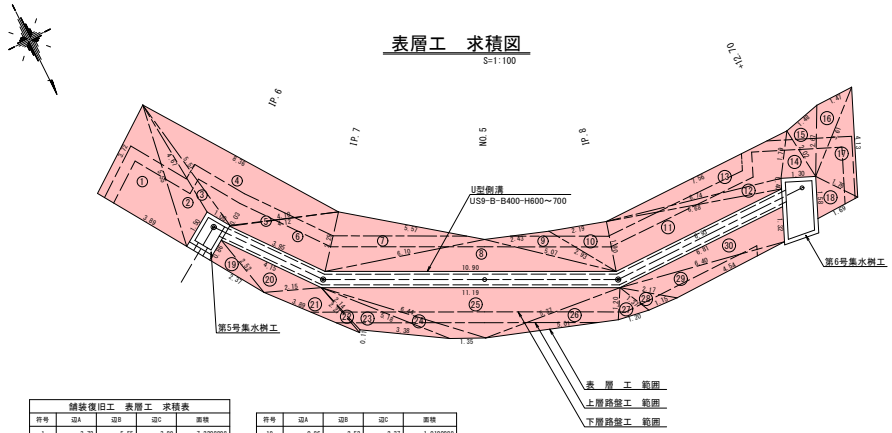
実施

令　和　8　年　度		図　番	15　葉　12
路線名又は箇所名	市道遊園地通線		
工　事　名	湯温海排水路工事		
位　置	鶴岡市湯温海　地内		
擁壁工詳細図			1　葉　1
縮　尺	図　示	鶴　岡　市	

舗装復旧工求積図

表層工　求積図

S=1:100



舗装復旧工　表層工　求積表

符号	辺A	辺B	辺C	面積
1	3.72	5.55	3.89	7.2208898
2	5.55	1.50	4.67	3.0700566
3	4.67	1.00	5.57	1.1105445
4	5.57	4.10	8.36	9.9990765
5	4.10	4.12	0.03	0.0459509
6	4.12	3.95	2.29	4.4178347
7	2.29	6.10	5.57	6.3703097
8	6.10	5.07	10.90	6.6221933
9	5.07	2.93	2.43	2.1936476
10	2.93	2.19	1.90	2.0800197
11	1.90	6.68	6.93	6.3457880
12	6.68	0.40	6.74	1.3262271
13	6.74	1.79	7.56	5.6435506
14	1.79	2.02	1.30	1.1457787
15	2.02	2.67	1.48	1.4793262
16	2.67	1.47	3.61	1.7250824
17	3.61	4.13	1.76	3.1683319
18	1.76	1.69	1.58	1.2102504
			合計	65.1777636

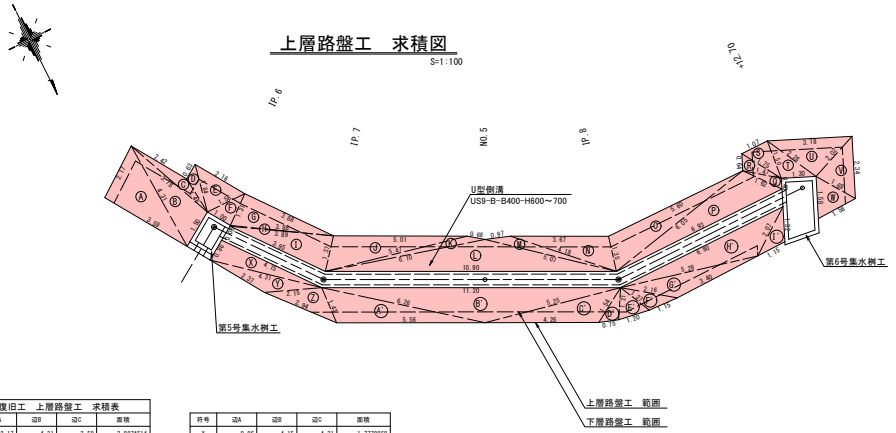
符号	辺A	辺B	辺C	面積
19	0.86	2.52	2.37	1.0190869
20	2.52	2.15	4.15	2.2130493
21	2.15	2.21	3.89	1.9147578
22	2.21	0.11	2.14	0.0922479
23	2.14	3.38	5.18	2.3982087
24	5.18	1.35	6.44	1.3984171
25	6.44	5.37	11.19	10.5156292
26	5.37	1.20	5.01	2.9506491
27	1.20	1.20	1.37	0.6749162
28	1.37	1.15	2.17	0.6914754
29	2.17	4.54	6.40	2.9962257
30	6.40	1.32	6.81	4.1229445
			合計	30.9876198

表　層　工

A = 65.1777636 + 30.9876198 ＝ 96.1653834 ≒ 96.17m2

上層路盤工　求積図

S=1:100



舗装復旧工　上層路盤工　求積表

符号	辺A	辺B	辺C	面積
A	2.17	4.31	3.59	3.8874514
B	4.31	1.50	3.78	2.7888548
C	3.78	1.46	2.42	0.7999597
D	1.46	0.63	1.84	0.4069227
E	1.84	2.16	1.56	1.4059248
F	1.56	1.31	1.00	0.6511813
G	1.31	3.88	3.68	2.4098999
H	3.88	3.89	0.03	0.0549418
I	3.89	3.95	1.37	2.6413480
J	1.37	5.47	5.01	3.3520047
K	5.47	0.68	6.10	0.7389969
L	6.10	5.07	10.90	6.6221933
M	5.07	4.18	0.97	0.8871194
N	4.18	3.67	1.35	2.4164995
O	1.35	5.60	6.05	3.6820341
P	6.05	1.62	6.93	4.3791666
Q	1.62	0.40	1.47	0.2940405
R	1.47	1.75	0.64	0.4540343
S	1.75	1.07	1.50	0.7981858
T	1.50	2.26	1.30	0.9302792
U	2.26	2.02	3.18	2.2708711
V	2.02	2.34	1.69	1.6673687
W	1.69	1.58	1.58	1.1281225
			合計	44.6573710

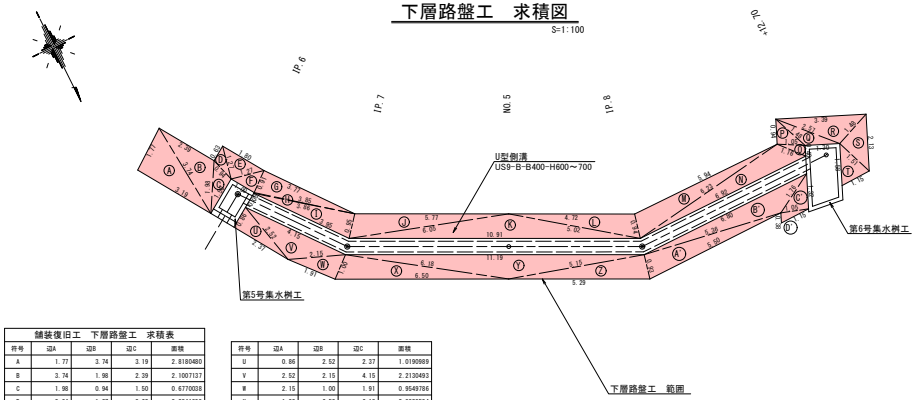
符号	辺A	辺B	辺C	面積
X	0.86	4.15	4.31	1.7778858
Y	4.31	2.15	2.37	1.4653480
Z	2.15	2.94	1.43	1.4556965
A'	1.43	5.56	6.26	3.6576905
B'	6.26	5.25	11.20	7.3990225
C'	5.25	1.54	4.26	2.7675273
D'	1.54	0.75	1.21	0.4464173
E'	1.21	1.20	1.37	0.6799654
F'	1.37	1.15	2.16	0.6972741
G'	2.16	3.40	5.28	2.2353635
H'	5.28	2.07	6.80	4.1808428
I'	2.07	1.32	1.15	0.6950223
			合計	27.4562160

上層路盤工

A = 44.6573710 + 27.4562160 ＝ 72.113587 ≒ 72.11m2

下層路盤工　求積図

S=1:100



舗装復旧工　下層路盤工　求積表

符号	辺A	辺B	辺C	面積
A	1.77	3.74	3.19	2.8180480
B	3.74	1.98	2.39	2.1007137
C	1.98	0.94	1.50	0.6770038
D	0.94	1.27	0.63	0.2841999
E	1.27	1.80	1.27	0.8064422
F	1.27	0.91	1.00	0.4518081
G	0.91	3.85	3.77	1.7144800
H	3.85	3.86	0.03	0.0545175
I	3.86	3.95	0.95	1.8328208
J	0.95	6.05	5.77	2.6738694
K	6.05	5.02	10.91	5.0920713
L	5.02	0.94	4.72	2.1590754
M	0.94	5.94	6.23	2.7123171
N	6.23	1.16	6.92	3.0535442
O	1.16	0.40	1.05	0.2089699
P	1.05	1.48	0.94	0.4906499
Q	1.48	2.57	1.30	0.6793473
R	2.57	1.48	3.29	1.7782850
S	1.48	2.13	1.51	1.1172767
T	1.51	1.15	1.58	0.8230299
			合計	31.5286701

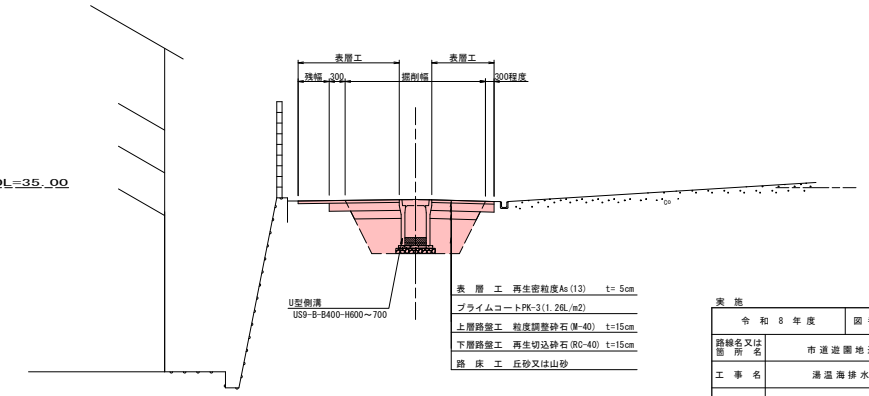
符号	辺A	辺B	辺C	面積
U	0.86	2.52	2.37	1.0190869
V	2.52	2.15	4.15	2.2130493
W	2.15	1.00	1.91	0.9549788
X	1.00	6.50	6.18	2.9939594
Y	6.18	5.15	11.19	4.9461886
Z	5.15	0.93	5.29	2.3900992
A'	0.93	5.50	5.36	2.4870068
B'	5.36	1.76	6.80	3.0438712
C'	1.76	1.32	1.05	0.6901144
D'	1.05	1.15	0.38	0.1986027
			合計	20.9369691

下層路盤工

A = 31.5286701 + 20.9369691 ＝ 52.4656392 ≒ 52.47m2

舗装復旧標準断面図

S=1:50

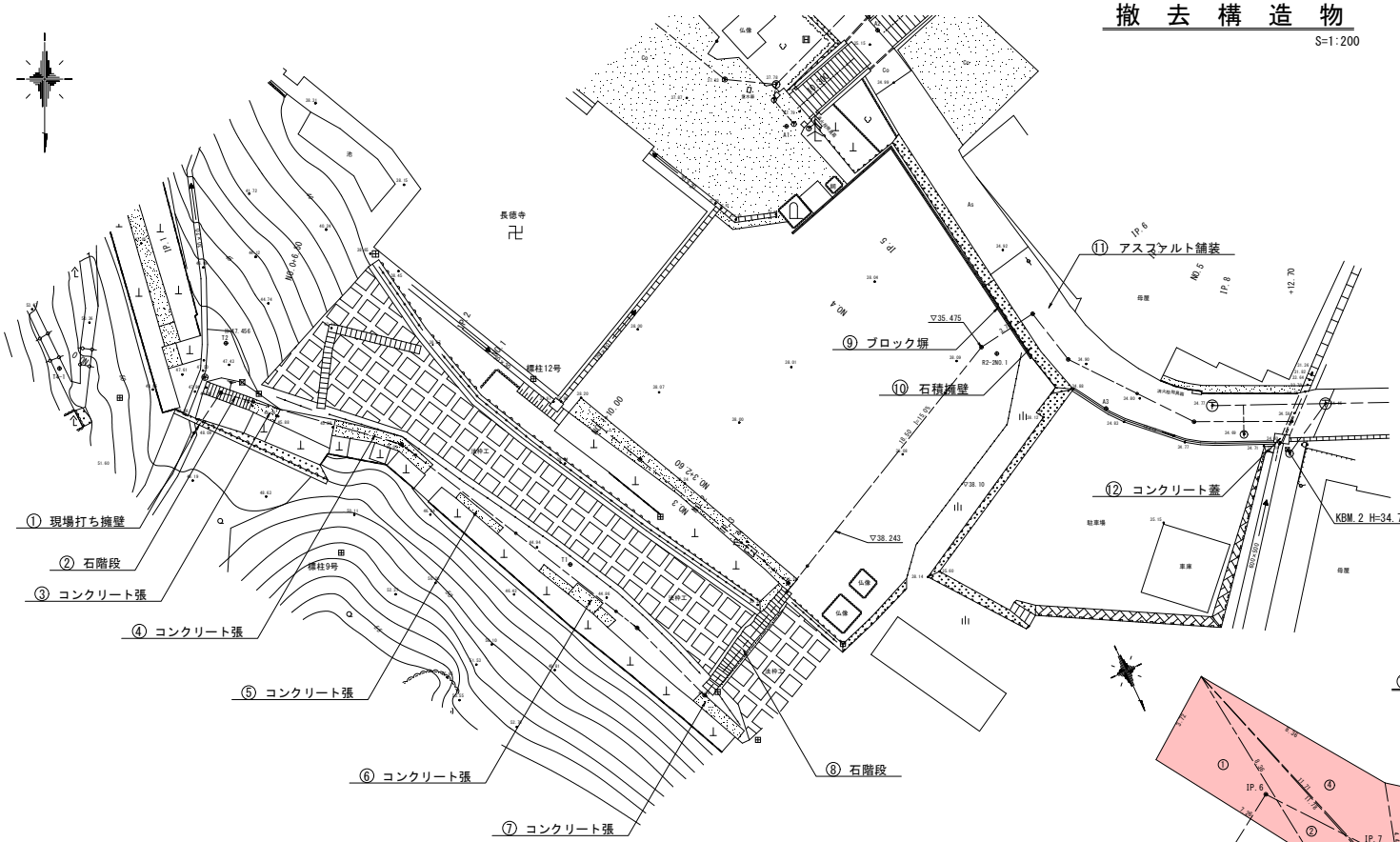


実施

令和8年度	図番　15　葉　13
路線名又は箇所名	市道逆園地通線
工事名	湯温海排水路工事
位置	鶴岡市湯温海　地内
舗装復旧工求積図	1　葉　1
縮尺　図示	鶴岡市

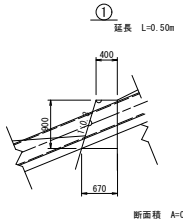
撤 去 構 造 物

S=1:200



現場打ち擁壁

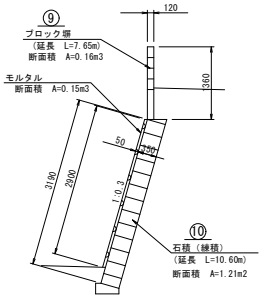
S=1:50



断面積 A=0.48m2

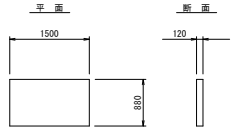
石 積 擁 壁

S=1:50



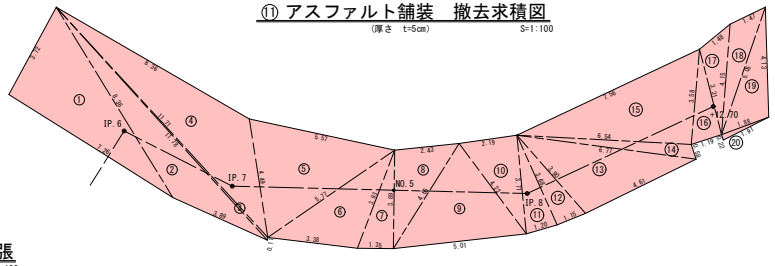
⑫ コンクリート蓋

(有筋) S=1:50



⑪ アスファルト舗装 撤去求積図

(厚さ t=5cm) S=1:100

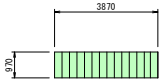


アスファルト舗装 撤去面積求積表				
符号	辺A	辺B	辺C	面積
1	3.72	8.36	7.26	13.4777032
2	8.36	3.89	11.78	9.1569574
3	11.78	0.11	11.71	0.4982927
4	11.71	4.49	8.36	14.6200337
5	4.49	5.57	5.77	11.6722565
6	5.77	3.93	3.38	6.4446306
7	3.93	1.35	3.69	2.4937495
8	3.69	4.65	2.43	4.4524609
9	4.65	4.22	5.01	9.1339911
10	4.22	3.71	2.19	4.0580999
11	3.71	3.68	1.20	2.1868923
12	3.68	1.15	3.90	2.1142404
13	3.90	4.61	6.77	8.6788748
14	6.77	0.58	6.54	1.7700350
15	6.54	3.58	7.56	11.7000651
16	3.58	3.31	1.19	1.9663167
17	3.31	4.15	1.48	2.2273750
18	4.15	1.47	5.05	2.6389039
19	5.05	4.13	1.88	3.6829314
20	1.88	1.91	0.22	0.2061546
			合計	113.1819546
			改め	113.18m2

石 階 段

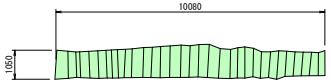
S=1:100

②



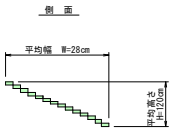
面 積 A=3.75m2

⑧



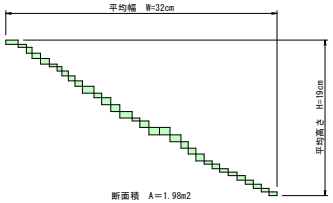
面 積 A=10.73m2

側 面



断面積 A=0.46m2

側 面

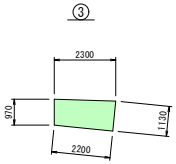


断面積 A=1.98m2

コンクリート張

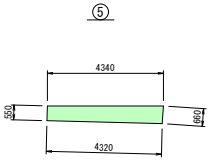
(厚さ t=10cm) S=1:100

③



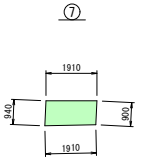
面 積 A=2.36m2

⑤



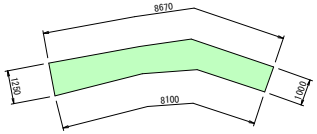
面 積 A=2.64m2

⑦



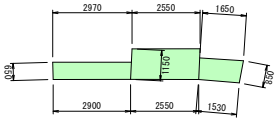
面 積 A=1.75m2

④



面 積 A=9.06m2

⑥



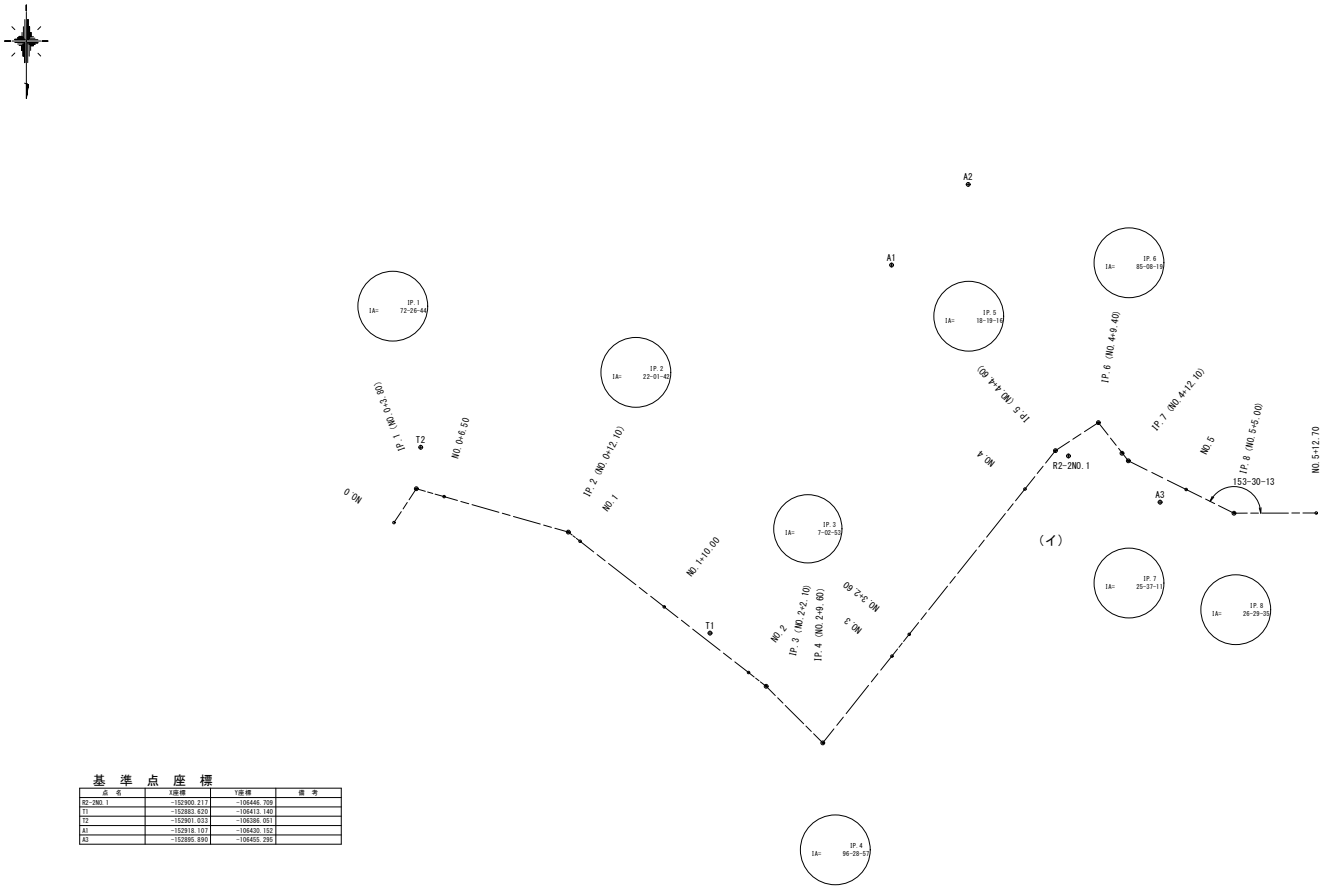
面 積 A=6.12m2

実施

令 和 8 年 度		図 番	15 葉 14
路線名又は箇所名	市道逆圃地通線		
工 事 名	湯温海排水路工事		
位 置	鶴岡市湯温海 地内		
撤去構造物			1 葉 1
縮尺	図示	鶴 岡 市	

湯温海地内排水路線形図

S=1:250



基 準 点 座 標

点 名	X座標	Y座標	備 考
R2-2NO.1	-152900.217	-106446.709	
T1	-152883.620	-106413.140	
T2	-152901.033	-106386.051	
A1	-152918.107	-106430.152	
A3	-152895.890	-106455.295	

中 心 線 座 標

点 名	X座標	Y座標	備 考
NO.0	-152893.976	-106383.541	
IP.1	-152897.146	-106385.637	
NO.0+6.50	-152896.405	-106388.233	
IP.2	-152893.087	-106399.869	
NO.1	-152892.226	-106400.973	
NO.1+10.00	-152886.077	-106408.859	
NO.2	-152879.928	-106416.745	
IP.3	-152878.636	-106418.401	
IP.4	-152873.332	-106423.705	
NO.3	-152881.471	-106430.181	
NO.3+2.60	-152883.505	-106431.800	
NO.4	-152897.120	-106442.634	
IP.5	-152900.720	-106445.499	
IP.6	-152903.346	-106449.517	
IP.7	-152899.762	-106452.320	
NO.5	-152897.077	-106457.741	
IP.8	-152894.857	-106462.222	
NO.5+12.70	-152894.876	-106469.922	

点 名	X座標	Y座標	備 考
IP.7	-152900.474	-106451.731	

実施			
令 和 8 年 度		図 番	15 葉 15
路線名又は箇所名	市道逆園地通線		
工 事 名	湯温海排水路工事		
位 置	鶴岡市湯温海 地内		
線 形 図			1 葉 1
縮 尺	S=1/250	鶴 岡 市	

見　積　参　考　資　料

工　事　名　　湯温海排水路工事

１）この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
２）この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。
３）原則として、各種補正や単価等の金額に関する質問には回答できません。

鶴岡市建設部土木課

第　1号　　1㎥当たり　　単価表

掘削

小規模

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削	土砂、上記以外(小規模)、標準	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準					
計						

第　2号　　1㎥当たり　　単価表

床掘

小規模

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
床掘り	土砂、上記以外(小規模)	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模)					
計						

第　3号　　1㎥当たり　　単価表

路床盛土

購入土

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
路床盛土	2.5m未満	㎥	1			
	施工幅員:2.5m未満					
丘砂(砂丘砂)		㎥	1.26			
計						

第　4号　　1㎥当たり　　単価表

埋戻し

流用土、小規模

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
埋戻し	上記以外（小規模）	㎥	1			
	施工方法：上記以外（小規模）					
計						

第　5号　　1㎥当たり　　単価表

フィルター材

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
フィルター材	埋設管保護用砂	㎥	1			
計						

第　6号　　1㎥当たり　　単価表

土砂等運搬

小規模　Ｌ＝35.0ｋｍ以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	小規模、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)、土砂	㎥	1			
	土砂等発生現場:小規模 積込機種･規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土質:土砂(岩塊･玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:無し 運搬距離:35.0km以下					
計						

第　7号　　1㎥当たり　　単価表

残土処分費

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
建設発生土受入料金（要改良土）	ｺｰﾝ指数<800kN/㎡,含水比<80%,（一社）庄内建設土再生協会	㎥	1			
計						

第　8号　　1m当たり　　単価表

高密度ポリエチレン管

内面平滑管　φ400㎜

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
暗渠排水管	据付、高密度ポリエチレン管、ダブル、400㎜、継手材料費不要	m	1			
	作業区分:据付 管種別:波状管 管規格:φ400㎜					
	呼び径:不要					
計						

第　9号　　1m当たり　　単価表

可変勾配側溝

B400×H600型

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝設置工 (L=2000㎜)	1000kg/個以下 制約無,基礎砕石施工する	m	1			第　57号単価表
計						

第　10号　　1m当たり　　単価表

可変勾配側溝

B400×H700型

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝設置工 (L=2000㎜)	1000kg/個以下 制約無,基礎砕石施工する	m	1			第　58号単価表
計						

第　11号　　1枚当たり　　単価表

可変勾配側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋

車道用　幅400用　長500

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
蓋版設置工 (Co製)	40kg超え170kg/枚以下 制約無	枚	1			第　59号単価表
計						

第　12号　　1枚当たり　　単価表

可変勾配側溝用鋼製溝蓋

車道用　400用　L=50ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
蓋版設置工（鋼製）	40kg/枚以下 制約無	枚	1			第　60号単価表
計						

第　13号　　1㎥当たり　　単価表

調整コンクリート

18-8-40BB

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	小型構造物、人力打設、18-8-40(高炉)、一般養生、小運搬有	㎥	1			
	構造物種別:小型構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:有り					
計						

第　14号　　10m当たり　　単価表

場所打ち側溝

B600×H500型

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	小型構造物、人力打設、18-8-40(高炉)、一般養生	㎥	2.9			
	構造物種別:小型構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
型枠	一般型枠、小型構造物	㎡	23			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:小型構造物					
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下	㎡	10			
	砕石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下					
計						
１ｍ当たり						

第　15号　　1箇所当たり　　単価表

第5号集水桝

SM-B1000-L700-H700　V=0.54m3

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝（本体）	18-8-40(高炉)、0.52m3を超え0.55m3以下、人力打設	箇所	1			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量:0.52m3を超え0.55m3以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法:人力打設					
	養生工の種類:一般養生･特殊養生(練炭)					
蓋版設置工（鋼製）	40kg超え170kg/枚以下 制約無	枚	1			第　61号単価表
計						

第　16号　　1箇所当たり　　単価表

第6号集水桝

SM-B1000-L2000-H1000　V=1.32m3

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打ち集水桝（本体）	21-8-25(高炉)、1.29m3を超え1.36m3以下、人力打設	箇所	1			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:21-8-25(高炉) 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量:1.29m3を超え1.36m3以下 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法:人力打設					
	養生工の種類:一般養生･特殊養生(練炭)					
鉄筋工	一般構造物	t	0.07			第　62号単価表
蓋版設置工（鋼製）	40kg超え170kg/枚以下 制約無	枚	3			第　63号単価表
グレーチング蓋　2146×1000用	T-25　普通目　ボルト固定　鎖付　3枚割り	式	1			
計						

第　17号　　1m当たり　　単価表

函渠工

RBC-B500-H500

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ボックスカルバート	据付、2.0m/個、B500×H500型	m	1			
	作業区分:据付 製品長:2.0m/個 内空幅･内空高(m):500×500					
	基礎材種別:基礎砕石＋均しｺﾝｸﾘｰﾄ PC鋼材による縦締め:無し					
計						

第　18号　　1㎡当たり　　単価表

基礎砕石

再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　0～80㎜　ｔ＝15ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
基礎砕石	12.5cmを超え17.5cm以下	㎡	1			
	砕石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下					
計						

第　19号　　1㎥当たり　　単価表

裏込砕石

再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　0～80㎜

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
裏込砕石		㎥	1			
計						

第　20号　　1㎡当たり　　単価表

型枠工

小型構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
型枠	一般型枠、小型構造物	㎡	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:小型構造物					
計						

第　21号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート打設

18-8-40（高炉）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	小型構造物、ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設、18-8-40(高炉)	㎥	1			
	構造物種別:小型構造物 打設工法:ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生					
計						

第　22号　　1.82m当たり　　単価表

跳水防止版
400用

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
繊維強化セメント板	ストレートボード　8×910×1820	枚	1			
計						
１m当たり						

第　23号　　1本当たり　　単価表

オールアンカー

M12　SUS

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30㎜以上200㎜未満	孔	1			
	削孔深さ:30㎜以上200㎜未満					
オールアンカー	M12　SUS	個	1			
計						

第　24号　　28.1㎡当たり　　単価表

大型ブロック積

控700ｍｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
大型ブロック積	2,000kg/個以下、有り	㎡	28.1			
	大型ﾌﾞﾛｯｸの質量:2,000kg/個以下 水抜きﾊﾟｲﾌﾟの有無:有り					
計						
１㎡当たり						

第　25号　　24㎡当たり　　単価表

大型ブロック（材料費）

ナウロック　70　（擬石模様）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ナウロック 70（擬石模様）	A型 99.8×100×70	個	12			
ナウロック70　（擬石模様）	B型149.9×100×70	個	8			
計						
１㎡当たり						

第　26号　　1㎥当たり　　単価表

胴込コンクリート

18-8-40(高炉)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
胴込コンクリート	大型ﾌﾞﾛｯｸ、2,000kg/個以下、18-8-40(高炉)	㎥	1			
	ﾌﾞﾛｯｸの種類:大型ﾌﾞﾛｯｸ ﾌﾞﾛｯｸの質量:2,000kg/個以下 生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
計						

第　27号　　1㎥当たり　　単価表

現場打ちコンクリート

18-8-40(高炉)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	小型構造物、ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設、18-8-40(高炉)	㎥	1			
	構造物種別:小型構造物 打設工法:ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生					
計						

第　28号　　1㎡当たり　　単価表

現場打ちコンクリート型枠

小型構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
型枠	一般型枠、小型構造物	㎡	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:小型構造物					
計						

第　29号　　1㎥当たり　　単価表

裏込め材

再生クラッシャーラン0～80ｍｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
裏込材（砕石）	大型ﾌﾞﾛｯｸ、再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ/粒径0～80㎜(無規格品)	㎥	1			
	ﾌﾞﾛｯｸの種類:大型ﾌﾞﾛｯｸ 胴込･裏込材規格:再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ/粒径0～80㎜(無規格品)					
計						

第　30号　　1㎡当たり　　単価表

目地材

瀝青繊維質目地　ｔ＝10ｍｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
瀝青繊維質目地板	厚10㎜	㎡	1.22			
計						

第　31号　　1m当たり　　単価表

天端コンクリート

18-8-40(高炉)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打天端コンクリート	18-8-40(高炉)、一般養生	㎥	0.15			
	生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 養生工の種類:一般養生					
計						

第　32号　　1m当たり　　単価表

土台コンクリート

18-8-40(高炉)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打基礎コンクリート	18-8-40(高炉)、有り、一般養生･特殊養生(練炭)	㎥	0.53			
	生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 基礎砕石の有無:有り 養生工の種類:一般養生･特殊養生(練炭)					
計						

第　33号　　1箇所当たり　　単価表

小口止工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場打小口止コンクリート	18-8-40(高炉)、一般養生	㎥	1.6			
	生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉) 養生工の種類:一般養生					
計						

第　34号　　1㎡当たり　　単価表

型枠

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
型枠	一般型枠、無筋構造物	㎡	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋･無筋構造物					
計						

第　35号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート打設

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
コンクリート	無筋構造物、ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設、18-8-40(高炉)	㎥	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:18-8-40(高炉)					
	養生工の種類:一般養生					
計						

第　36号　　1㎡当たり　　単価表

目地材

瀝青繊維質目地　ｔ＝10ｍｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
目地板	30m2未満	㎡	1			
	1工事当り使用量:30m2未満					
計						

第　37号　　30m当たり　　単価表

転落防止柵

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
転落防止柵工	P種	m	30			第　64号単価表
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 粒径0～80mm(無規格品)	㎥	1.6			第　65号単価表
計						
１ｍ当たり						

第　38号　　1㎡当たり　　単価表

下層路盤工

ＲＣ-40、ｔ＝15ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（車道・路肩部）	ｔ＝15ｃｍ、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:ｔ＝15ｃｍ 施工区分:1層施工					
計						

第　39号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤

M-40、ｔ＝15ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 M-40、ｔ＝15ｃｍ、1層施工	㎡	1			
	材料:粒度調整砕石 M-40 全仕上り厚:t=15cm 施工区分:1層施工					
計						

第　40号　　1㎡当たり　　単価表

表層（1.4m≦W＜3.0m）

再生密粒度Ａｓ（13）、ｔ＝5ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下、t=5cm、再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生密粒度As（13）					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　41号　　1㎡当たり　　単価表

表層（W＜1.4m）

再生密粒度Ａｓ（13）、ｔ＝5ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	1.4m未満、t=5cm、再生密粒度ｱｽｺﾝ（13）	㎡	1			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:ｔ＝50mm 材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

第　42号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリートとりこわし工(機械施工)

無筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策必要

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	無筋構造物 機械施工 制約無	㎥	1			
計						

第　43号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリートとりこわし工(機械施工)

鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策必要

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	鉄筋構造物 機械施工 制約無	㎥	1			
諸雑費		式	1			
計						

第　44号　　1㎥当たり　　単価表

石積取壊し

練積(擁壁)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
掘削	土砂、上記以外(小規模)、標準	㎥	1			
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準					
計						

第　45号　　1m当たり　　単価表

舗装切断

アスファルト舗装　ｔ＝5ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、15cm以下	ｍ	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下					
計						

第　46号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

アスファルト舗装版、ｔ＝5ｃｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、騒音対策必要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:必要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第　47号　　1㎥当たり　　単価表

アスファルト殻運搬

L=28.5ｋｍ以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(小規模土工)、無し、28.5km以下	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:無し					
	運搬距離:28.5km以下					
計						

第　48号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート殻運搬

無筋構造物　L=23.2km以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	㎥	1			
	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:23.2km以下					
計						

第　49号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート殻運搬

鉄筋構造物　L=23.2km以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	㎥	1			
	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:23.2km以下					
計						

第　50号　　1㎥当たり　　単価表

石積み殻運搬

L=35.0km以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土砂等運搬	小規模、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)、土砂	㎥	1			
	土砂等発生現場:小規模 積込機種･規格:ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3) 土質:土砂(岩塊･玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:無し 運搬距離:35.0km以下					
計						

第　51号　　1㎥当たり　　単価表

アスファルト処分費

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処分費	50cm以下(小野寺建設)	㎥	1			
計						

第　52号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート処分費

無筋

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	無筋　50cm以下(小野寺建設)	㎥	1			
計						

第　53号　　1㎥当たり　　単価表

コンクリート処分費

鉄筋

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	鉄筋　50cm以下(小野寺建設)	㎥	1			
計						

第　54号　　1㎥当たり　　単価表

擁壁殻処分費

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊処分費	無筋　50cm以下(小野寺建設)	㎥	1			
計						

第　55号　　1㎥当たり　　単価表

濁水運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	舗装版破砕、機械積込(小規模土工)、60.0km以下	㎥	1			
	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:無し					
	運搬距離:60.0km以下					
計						

第　56号　　濁水処理費　　1㎡当たり　　単価表

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断 濁水処理費		m3	1			
計						

第　57号　　10m当たり　　単価表

自由勾配側溝設置工 (L=2000㎜)

1000kg/個以下 制約無,基礎砕石施工する

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝　　(縦断用)	400×600×2000㎜	個	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80㎜(無規格品)	㎥	0.768			
生ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40　W/C≦60　高炉	㎥	0.339			
排水構造物工 昼間 自由勾配側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

第　58号　　10m当たり　　単価表

自由勾配側溝設置工 (L=2000mm)

1000kg/個以下 制約無,基礎砕石施工する

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝　　(縦断用)	400×700×2000mm	個	5			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80mm(無規格品)	㎥	0.768			
生ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-40　W/C≦60　高炉	㎥	0.339			
排水構造物工 昼間 自由勾配側溝	L2000 1000kg以下 制約無	m	10			
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

第　59号　　1枚当たり　　単価表

蓋版設置工（Co製）

40kg超え170kg/枚以下 制約無

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
自由勾配側溝用コンクリート蓋	車道用 400用　 長500	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　60号　　1枚当たり　　単価表

蓋版設置工（鋼製）

40kg/枚以下 制約無

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
嵩上式鋼製溝蓋（自由勾配側溝用）	T-14 車道用400用 L=50cm, 490×490 mm	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40kg/枚以下 制約無	枚	1			
諸雑費		式	1			
計						

第　61号　　1枚当たり　　単価表

蓋版設置工（鋼製）

40kg超え170kg/枚以下 制約無

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
グレーチング桝蓋	700×1000　T-25　普通目　ボルト固定　盗難防止金具付き	枚	1			
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
諸雑費		式	1			
計						

第　62号　　1ｔ当たり　　単価表

鉄筋工

一般構造物

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
異形棒鋼	SD345　D13	t	1.03			
鉄筋工	一般構造物	t	1			
諸雑費		式	1			
計						

第　63号　　1枚当たり　　単価表

蓋版設置工（鋼製）

40kg超え170kg/枚以下 制約無

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
排水構造物工 昼間 蓋版	Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約無	枚	1			
計						

第　64号　　1m当たり　　単価表

転落防止柵工

P種

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
転落及び横断防止柵	P種 高さ1.1m 支柱間隔 3m,厚3.2×φ60.5×1550mm	m	1			
計						

第　65号　　1㎥当たり　　単価表

基礎材

再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 粒径0～80㎜(無規格品)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	粒径0～80㎜(無規格品)	㎥	1			
計						